

2016年度 年 報  
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部  
天使大学大学院看護栄養学研究科

はじめに

天使大学長 武藏 学

天使大学はカトリック大学としてのミッションを担って教育・研究に当たってきましたが、2017年は学園創立70周年の記念の年に当たります。これまでの本学園の歩みを支えて下さった関係者の皆様と神に感謝すると共に、これからの歩みの上に御導きを祈るものであります。今後に関しては特に、大学院の充実を重点目標の一つに挙げてきましたが、教員組織の充実と学生確保が課題です。2016年度からは修士課程に保健師コースが増設され、5名の院生を迎えてスタートし、また、日本看護系大学協議会のがん専門看護師38単位教育課程の申請も承認されました。今後さらに看護学専攻博士後期課程及び専門看護師コースの増設が急がれます。

さて、本学の教員には、そのミッションに適う教育・研究活動を行っているか、所属する教育研究組織が適切に活動しているかについての自己吟味が求められています。そのために計画・実行した教育・研究活動について自らが評価して改善していくPDCAサイクルがあり、自己点検評価に関する方針・実施基準に基づきその実施・報告に関する事項を自己点検評価委員会が担っています。本学のさらなる前進のために自己点検評価委員会が引き続き、本活動を熱心に推進されることを期待しております。

2016年度の自己点検評価結果については、年報の発行に先立って3月の教育研究評議会に報告して頂き、全学的に点検評価結果を共有しました。今後は評価点検結果に対応・改善するための「Act」の部分を教育研究評議会で十分検討し、全学的に取り組んでいく必要があると考えております。

ここに2016年度年報をお届け申し上げます。学外関係者の皆様におかれましては、平素の本学の運営へのご理解、ご支援を深く感謝申し上げますと共に、本年報にお目を通し頂き、ご意見、ご批判を頂ければ幸いに存じます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2017年6月

天使大学  
学長 武藏 学



## 自己点検・評価報告書

## 目 次

I. 教育課程	1
1. 教務委員会	1
2. 看護学科	2
3. 栄養学科	3
4. 教養教育科	5
5. 看護栄養学研究科	6
II. 学生の受け入れ	7
III. 教員組織	9
IV. 研究活動・研究環境	10
V. F D活動等	13
VI. 社会貢献	14
VII. 学生生活	18
VIII. 就職支援	21
IX. 図書館	22
X. 情報処理システム	23
XI. 施設・設備	24
XII. 管理運営	25
XIII. 財務	26
XIV. 事務組織	27
XV. 自己点検・評価活動	28

# I. 教育課程

## 1) 教育課程の運営

担 当：教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部 of 教育の質保証に関すること</li> <li>2. 教育方法の評価と改善に関すること</li> <li>3. 学生の学修支援に伴う課題の検討</li> <li>4. 学修環境の整備</li> <li>5. 専任教員、非常勤講師、実習指導教員等の選考・委嘱手続きに関する検討</li> <li>6. 教務関連諸手続に関する規定等の改正</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部 of 教育の質保証に関すること            本年度は、カリキュラム検討委員会において、整合性のとれた新しい3ポリシー(DP, CP, AP)が議論された。各学科・科の教務委員がこの委員会に参加した。新しいCP策定の折には、各学科・科の教育課程も改正が必要となる。新CP策定は次年度以降に持ち越された。</li> <li>2. 教育方法の評価と改善に関すること            学生による授業評価アンケートは、実施主体がFD委員会に移った。</li> <li>3. 学生の学修支援に伴う課題の検討           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入学時オリエンテーション、出会いと親睦のゼミ、履修ガイダンス、履修登録について、今年度は大過なく実施した。</li> <li>2) 定期試験、追・再試験について、学生による不正行為が複数回あった。また、解答用紙の氏名不記入もあった。試験監督などのアクシデントが数件あった。今年度の後期から、これらを未然に防止するべく、試験監督要領を改定した。</li> </ol> </li> <li>4. 学修環境の整備           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 今年度前期からT-NAVI (universal passport) を導入した。また、後期から教室内無線LAN (wi-fi) を利用した出欠登録システムも稼働させた。今年度の運用状況を踏まえ、次年度は更なる安定運用を目指す。</li> <li>2) 時間割が過密で、授業15回の確保や再履修への対応が難しい状況であり、今年度はカリキュラム検討委員会での議論と併せ、対応を検討することを想定していたが、未着手である。次年度以降の課題として残る。</li> </ol> </li> <li>5. 専任教員、非常勤講師、実習指導教員等の選考・委嘱手続きに関する検討            実習指導教員の委嘱手続きについて、現状を踏まえて整理した。</li> <li>6. 教務関連諸手続に関する規定等の改正            現状を踏まえて整理した。次年度以降も、規程・申し合わせの整理を続ける。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の課題を見出し改善をはかる。</li> <li>2. ポータルサイト(T-NAVI)の安定した運用をめざす。</li> <li>3. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>ポータルサイト(T-NAVI)の導入に伴う学修環境の整備が進んでいることについて評価する。今後もよりよい学修環境への整備を期待する。</p>

I. 教育課程

2) 看護学科

担 当：看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施・充実</li> <li>2. 学生支援の促進と評価</li> <li>3. 教員の教育・研究活動の推進</li> <li>4. 教育指導体制の充実</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施・充実に関する評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年4月1年次から、過密カリキュラム是正の新カリキュラムを展開、科目配置や過密感において、学生の自己評価から改善が見られた。従来カリキュラム2～4年では、主体的学習行動、実践力、判断力育成を目指した。自己評価から1年と4年は高いが、グループワークが増える2年・3年で低く、自らの問題意識として積極的に取り組まれていないと読みと取れる。提出後のフィードバック評価指導等により、グループワークの成果と課題を明確にし、学習への動機付けを促すことが必要と考える。</li> <li>・人間性育成として自己洞察と他者理解、職業観育成の為、1年からのポートフォリオを活用し自己の傾向と対峙しつつ展開。自己肯定感、他者への関心、看護師像で「昨年より明確化できた」と、自己の変化に気付いていた。正課外教育特に修養会での内省等の影響も考えられる。建学の精神に基づき各学年の修養会に於いて、柱になる点を学生と話し合い、祈り、聖書講読、内省を組み入れ、落ち着きと充実した修養会を目指すことが出来た。</li> <li>4年修養会も2日間に戻り、教育理念と自己の関わりから将来展望が語られた。</li> <li>・学習環境は、研究文献複写補助、母子実習室空調設置で自己学習の向上が見られた。継続持ち越課題である実習交通費負担格差対策は、後援会への要望も却下されていた。</li> </ul> </li> <li>2. 学生支援の促進と評価:少数制の学生支援教育に対し学生評価からの反応は良かった。だが、個別事例では課題もあり、学生との信頼関係に向けて留意していかなければならない。学習支援は、低学年の専門基礎科目支援、4年国試模試増加、成績不振学生の個人指導で学習を補い動機付けを図った。</li> <li>3. 教員の教育・研究活動の推進 学科内自己点検委員会調査回収率83.3%(25名)より <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文投稿11名(44%)、学会発表19名(76%)。科研費新規応募9名(35%)、継続中6名。昨年新規0件継続3件。特別研究費助成新規2件。社会貢献活動16名(64%)、博士課程在籍3名で1名増。また昇格5名が承認。以上より研究活動の前進と評価したい。</li> <li>・学会等参加の伝達講習会を5回、計8名が行い、領域を超えて学ぶ機会となった。</li> </ul> </li> <li>4. 教育指導体制の充実:定員33名中31名で始動、昨年より改善だが2名不足は継続。特に大学院兼務教授は補充できず、来年度は助手で定員補充。教授募集を継続し教育・研究体制の整備を目指す。臨床指導者研修会開催し、指導上の関わりを考える機会となった。</li> <li>5. その他 :修養会での飲酒、定期試験不正行為、SNSでの品位に関わる事案、マナー低下の外部指摘等次々発現し、学生の自覚を促す教育的関わりを要した。学部生全体としての対応も必要であろう。成績評価意見申し出は0件だが、指導への不満は有り、教員の自己評価力向上と教員間で指摘し合える、相補的關係性構築も課題であろう。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カリキュラムの実施・充実:実践力、主体的学習行動、判断力育成を目指す。</li> <li>2. 学生支援活動の充実:学生支援教員と当該領域教員との連携を継続する。</li> <li>3. 教員の教育研究活動の推進:研究資金獲得や研修時間の確保への各領域での体制作り</li> <li>4. 教育指導体制の充実:職位や年齢構成を考慮した安定的な教員配置を目指す。</li> <li>5. その他:学生生活上の課題は継続して支援していく。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>カリキュラム是正に伴い建学の精神に基づいた教育の結果学生が人間的に成長したこと、さらに教員の教育研究活動では学会活動等を実践した割合が多く伝達講習を実施し相互に情報を共有している点は評価できる。学生生活上の課題においては、建学の精神の教育の成果が見いだされている状況であるので、学生の成長を望む。</p>

I. 教育課程

3) 栄養学科

担当：栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</li> <li>2. 就職支援対策の充実</li> <li>3. 研究活動及び地域連携の推進</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①学部カリキュラム検討委員会での検討事項である3つのポリシーの年度内完成に向けて、学科カリキュラムワーキングにおいて DP の検討を行った。次年度は現行の3ポリシーを一部修正したものを公表することとなったが、3つのポリシーの作成につながる検討を行った。              ②臨地実習については実習担当教員を中心とし実習指導を行い、巡回などは学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については、学生対応や実習中の SNS に関していくつかの課題があった。              ③国家試験対策の支援についてはワーキングの教員が中心となり、模擬試験や学生指導を行い、学科教員による試験対策講義を実施した。模擬試験結果は昨年度より平均点が上昇した。また、支援教員及び学科長から模擬試験成績下位者への面談を実施し、学生への士気向上に向けたサポートを行った。</li> <li>2. 就職支援対策では、学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。学生の就職希望先が多極化していることから、就職委員会との連携をさらに深めながら、よりよい就職につながるようにサポートした。就職委員会が実施する対策講座への参加支援なども実施した。              栄養教諭の合格者は4名であった。1名は小学校に内定、他3名は他への就職が決定し辞退したため、受験の心構えについての指導に関して検討を要する。</li> <li>3. 研究活動及び地域連携の推進については、「農林水産省異分野融合共同研究」に取り組んだ。社会・地域貢献として天使健康栄養クリニックやコープさっぽろとの事業を実施した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学科の DP を検討するとともに、CP の検討と合わせてカリキュラムの見直しをおこない、AP の検討を行う。</li> <li>2. 臨地実習及び成績下位者への指導について検討する。</li> <li>3. 管理栄養士国家試験について学科全体の協力体制のもと、対策を検討し、合格率 100% を目指す。</li> <li>4. 個々の学生に適した就職支援のあり方、栄養教諭の受験指導について検討する。</li> <li>5. 社会・地域貢献の一環として地域連携を積極的に推進する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>目標の正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実に対する活動内容の評価をすること。より具体的な取り組みに期待する。臨地実習での SNS 等事故に対する指導体制作りを期待する。国家試験対策としての模擬試験、学科教員による試験対策講義とより綿密な指導体制で臨まれたことを評価するが、ここ数年不合格者推移に大きな変動が見られず、さらなる検討と支援に期待する。</p>



I. 教育課程

3) 栄養学科－教職課程

担 当：教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育の充実 2. 科目等履修生の受入 3. 栄養教諭免許状更新講習の計画策定と実施</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育の充実 1) 現職の栄養教諭による授業（講演）の実施 ①「栄養教育実習事前事後指導」の1回：「学校現場の実態」のテーマで小学校栄養教諭が実施。 ②「教職実践演習」の1回：「年間指導計画と効果的な食指導」のテーマで小学校栄養教諭が実施。 ③「教職実践演習」の1回：「特別支援学校の栄養教諭業務」のテーマで特別支援学校栄養教諭が実施。 *いずれも、授業後のレポートで効果が確認された。 2) 外部との連携による教育の充実 ①北海道大学での農場体験 i)「ベリー類の特性についての学習と収穫体験」（1年次「教職概論」の1回） ii)「田植え・稲刈り・収穫・搾乳体験・調理体験」（正課外、1年次） iii)「新米官能評価」（正課外、1年次） iv)「北大生対象新米による調理指導」（正課外、3年次） ②小学校でのインターンシップ体験（正課外、札幌市立小学校3校で実施、2年次） ③サッポロさとらんどでの栄養教育（4年次「教職実践演習」・3年次「教職総合演習」） ④小学校授業参観（1年次「教職概論」、札幌市立小学校1校で実施） ⑤中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立中学校1校で実施） ⑥北光児童会館等での児童への栄養教育体験・ボランティア活動（1、3年次） *以上については、事後のレポート、アンケート、感想から、学生にとって感動的体験で学びが多く、その効果が確認された。 3) 履修カルテ活用の充実 履修カルテの内容を改訂し、学生への指導を充実した。 4) 教員採用試験の受験支援 平成29年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて行った。合格者は受験者11名中、北海道4名、札幌市の栄養教諭候補である栄養士職員は5名であった。北海道の栄養教諭の合格者26名中、本学の学生および卒業生は7名であり、合格者の1/3を占める割合となったことは評価できる。 2. 科目等履修生の受入 本学の卒業生である1名を受け入れ、6科目（計11単位）を認定した。 3. 栄養教諭免許状更新講習の計画策定と実施 8月10日（水）に、「北海道の食文化について」をテーマとし本学山部秀子教授による講習を実施した。栄養教諭23名が受講し、事後アンケートでも概ねよい評価を受け、目標は達成された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2019年度から新課程が開始されるため、再課程認定申請を行う。 2. 教員採用試験の支援を一層強化し、合格・登録者数を高めるため、就職委員会と連携した支援を行う。 3. 栄養教諭免許状更新講習は引き続き実施することとし、受講者の希望を考慮して運営するよう努める。また、受講者数の増加を目指し募集時期を見直すなどの対応を行う。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>教職課程教育の充実のために、現職栄養教諭による授業や外部との連携により学生の関心が高まったことを評価する。出来れば、種々の体験学習プログラムにより、何が強化され、教育充実としてどのようなことが補填されたのか、評価が必要と考える。 教員採用試験の受験支援も合格率を上げる等担当各位の努力を大いに評価するが、栄養教員としての就職は1名なことから、栄養教員に対する志向教育について期待する。</p>

I. 教育課程

4) 教養教育科

担 当：教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>I. 初年次教育関連</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語教育 G-TELP を用いた習熟度別クラス分け、到達度評価をおこなう。</li> <li>2. 共通基礎科目 高等学校の新しい教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。</li> <li>3. 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会での議論を踏まえ、効果的な連携を目指す。</li> </ol> <p>II. 学外研修関連 初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>III. その他 教養教育科における自己点検評価活動の充実を目指す。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>I. 初年次教育関連</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語教育 G-TELP を用いた習熟度別クラス分け、および到達度評価をおこなった。</li> <li>2. 共通基礎科目 生物学および化学について、入学試験の合格者に対して、問題集を配布・回収・採点などの入学前教育・導入教育をおこなった。また、入学後に診断テストをおこない、高等学校の新しい教育課程下における理科学科目の定着状況をおこなうとともに、習熟度別クラス分けなど履修指導に活用した。</li> <li>3. 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会において、主に学部のディプロマ・ポリシーについて議論した。また委員会での議論のため、科でも学士力や社会人基礎力を踏まえて意見を交換した。</li> </ol> <p>II. 学外研修関連 初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集した。本年度は下記の研究会等に参加した。科内で情報を共有し、自己点検評価活動の参考とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会(北海道教育大学, 札幌, 8月)</li> <li>2. 初年次教育学会(四国大学, 9月)</li> <li>3. 大学教育研究フォーラム(京都大学, 3月)</li> </ol> <p>III. その他 科の自己点検評価として、意見交換会をおこない、教育・研究・その他に関して情報の共有をはかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>I. 初年次教育関連の更なる充実 II. 学外研修関連による情報収集 III. 教養教育科における自己点検評価活動の更なる充実</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>初年次年教育を実施し学生の状況をクラス分に活用していることは授業の理解度に貢献しているが、専門科目を学ぶ基礎科目として専門科目に必要な知識が培われるように各学科の関連科目担当教員との連携を望む。学外の研修に参加して得られた有益な情報を、学生教育に生かしていただくように期待する。</p>

I. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担 当：看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2016 年度新カリキュラムの効果的な運用</li> <li>2. 大学院生定数確保のための対策</li> <li>3. 教育研究施設・備品、図書、研究費等、院生の研究活動充実に向けての支援</li> <li>4. 看護栄養学研究科としての FD の企画・運営</li> <li>5. 大学院教員体制の整備、組織体制の検討</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2016 年度は、看護学専攻修士課程 3 名（ホスピス緩和ケア看護学コース 2 名、公衆衛生学コース 1 名）が修士（看護学）を取得した。長期履修制度利用者 1 名。栄養管理学専攻博士前期課程 5 名が修士（栄養学）を取得し、長期履修制度利用者は 3 名であった。博士後期課程 1 名が博士（栄養学）、論文博士 1 名が博士（栄養学）を取得した。</p> <p>個々の活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2016 年度新カリキュラムの効果的な運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学専攻保健師コース（保健師教育課程）58 単位を運用した。今年度は、保健師コースの院生のみであったため、共通科目は、一部のみ土曜開講とした。</li> </ul> </li> <li>2. 在籍学生比率向上に向けて、以下の活動を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院進学への意識づけのために学部生を対象に説明会を実施した。（看護学 4/28 1・2・4 年次生 32 名 5/9 3 年次生 14 名）（栄養学科 7/5、3・4 年次生 45 名）</li> <li>・天使祭説明会（6/11 看護学専攻 2 名、栄養管理学専攻 0 名）</li> <li>・新カリキュラム「環境健康論」特別講師北海道大学岸玲子特任教授に公開授業を依頼し、7/23 実施、HP、近郊の大学や実習施設等に郵送し、保健師コースを PR した（参加 28 名）。</li> <li>・シャーマン教授による学部生の特別講義及びホスピス緩和ケア講演会を 7/9 開催、HP、医療機関や実習施設等に案内を郵送してホスピス緩和ケアコースを PR した（参加 45 名）</li> </ul> </li> <li>・2017 年度入試結果、看護学専攻は、保健師コース 2 名、ホスピス緩和ケア看護学コース 2 名が、栄養管理学専攻は、博士前期課程 1 名の入学が確定した。収容定員に対する在籍学生比率は、看護学専攻 32.1%（昨年 36.4）、栄養管理学専攻博士前期課程 33.3%（昨年 100）、博士後期期課程 33.3%（昨年 50）で、前年度よりも低下した。更なる広報活動の充実とともに、奨学金制度の整備、e ラーニング等を活用した遠隔教育の検討が必要である。</li> <li>3. 院生研究費の有効活用に向けて、研究費の金額、適用範囲、精算方法等について、T-NAVI で院生、担当教員に周知した。</li> <li>4. 大学院看護栄養学研究科合同 FD を実施した。第 1 回は 2/15 「NIPPON DATA について」滋賀医科大学上島弘嗣特任教授で、参加は 28 名であった。第 2 回は 3/2 「グローバルゼーションの進展と国際保健の人材教育」東京大学神馬征峰教授で、参加は 64 名であった。</li> <li>5. 大学院教員体制の整備、組織体制の検討については目立った進展がなかったが、今後とも続けることとした。</li> <li>6. 2016 年度天使健康栄養クリニックは 32 名に健康教育を行い、体重および腹囲減少等の成果を上げた。天使健康栄養クリニックの実績により農水省事業における北海道大学との共同研究は 3 年目になった。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大、e ラーニング等を活用した遠隔教育の検討</li> <li>2. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討</li> <li>3. 大学院の組織体制（各種委員会）の検討</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨（2015）年度の課題を踏まえて、今年度の活動目標が策定され、さらに各目標に対して評価が行われ、次（2017）年度の課題へとつながっている。自己点検評価の P D C A サイクルが適切に実施されており評価できる。</p>

## II. 学生の受け入れ

担 当：入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種入学試験について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</li> <li>2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学試験選抜制度と内容について検討を継続する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学試験実施に関する評価は以下のとおり。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①入学試験の厳正な実施のため、入試関係機密書類の印刷・複写をする複合機を入試事務室に2016年3月に設置し、活用した。</li> <li>②各種入学試験に関するアンケートをとりその結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。また、今年度より、アンケート集計結果を学内LANに掲載し、教職員に公表した。</li> <li>③大学入試センター試験では、試験場責任大学として共同実施校と連携を図りながら準備を進め、円滑に試験を実施した。</li> <li>④一般入学試験等をより厳正かつ円滑に実施できるようにするため、試験問題作成や試験実施に関わるマニュアルの記載をさらに検討することとした。</li> <li>⑤「個人面接試験評価項目一覧」および「合否判定基準」について委員会で意見が出され、今後、引き続き検討していくこととした。</li> </ol> </li> <li>2. 入学試験選抜制度・内容の検討について、昨年度に具体的な課題としてあげた項目についての評価は以下のとおり。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①「進学校に対する指定校推薦枠の設置」：新入学者選抜制度の検討について審議したが、今後、引き続き検討することとした。</li> <li>②「高等学校への入試情報の提供の是非や範囲等の検討」：高校への説明のための参考情報ならびに面接試験の在り方を検討するため、「面接に関する調査」を面接担当教員に実施した。</li> <li>③「2016年度入試問題難易度の分析」：2016年度一般入学試験について、設問ごとの正答率に関して分析し、2017年度一般入学試験問題作成者に問題作成の参考資料として分析結果を提供した。</li> </ol> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。そのため、具体的に次年度は以下の点を行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①試験問題作成や試験実施に関わるマニュアルの記載内容充実</li> <li>②「個人面接試験評価項目一覧」および「合否判定基準」の見直し</li> </ol> </li> <li>2. 「入学試験選抜制度全体の見直し」について行政および他大学の動向、本学のアドミッション・ポリシーの議論を踏まえ、審議を継続する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>円滑かつ厳正な入学試験のための準備から実施への取り組み、さらに、センター入試の責任校として遺漏無く遂行されたことを評価する。</p> <p>面接試験成績は合否判定において大きな要素であり、入学後の学生状況とも鑑みて、個人面接試験評価と基準についての検討に期待する。</p>

## II. 学生の受け入れ

担 当：広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部については、「接触者数の増加」「接触者の志願率・入学定着率の向上」の目標の下で、広報活動を展開する。中でも、2016年度は「接触者数の増加」を最重点課題とし、地方の進学相談会への参加会場数増加やオープンキャンパスへの動員（告知）強化等を行う。</li> <li>2. 受験生の受験行動（志望校検討・決定プロセス等）に合わせたセグメント式広報活動を早期（4月）から展開する。また、次々年度以降の大学案内の早期完成などの検討も併せて行う。</li> <li>3. オープンキャンパスなどで魅力あるコンテンツを発信し、志願者数確保につなげる。</li> <li>4. 大学院看護栄養学研究科の広報活動強化の具体策を検討し、実施する。</li> <li>5. スマートフォン向けのホームページを運用し、情報発信を行っていく。また、学内教職員への諸活動等に関する掲載情報提供の要請をする。</li> <li>6. 継続的な志願動向等分析活動および各機関へのフィードバックを行い、各機関との連携強化を図る。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「接触者数の増加」を最重点課題とした本年度においては、進学相談会 46 会場(15 会場増加)、校内ガイダンス 33 校（3 校増加）、模擬授業 27 校（看護学科 17 校・3 校増加、栄養学科 10 校・4 校増加）などの強化策を講じ、全体としては安定的な接触者数を確保することはできたが、参加者数（接触者数）が少ない会場や高校などもあった。背景には、こうした企画に参加する高校生と本学のターゲット層とのマッチングの関係性があるため、2017 年度以降の参加対象については、志願者動向を予測しながら、年度ごとに検討する必要がある。</li> <li>2. 試験的に渡島、胆振、日高管内の一部の高校への高校訪問を 4 月に実施したが、その効果については、高校側の進路実績や進路指導方針等によっても異なることが聞き取り調査から明らかになった。また、オープンキャンパスへの参加者数が減少した高校 2 年生の接触者数増加のため、これまで、高校 3 年生が中心であった志願促進 DM（11 月発信）の発信対象として高校 2 年生を大幅に増加させるなど、受験行動データを活用しながらの活動を展開した。なお、次々年度以降の大学案内の制作については着手していない。</li> <li>3. 本年度オープンキャンパスの新規企画として、第 1 回で説明会、第 3 回では予備校講師による英語試験対策講座を実施することを、高校訪問、進学相談会、校内ガイダンス、ホームページ、DM 等で事前に PR した結果、3 回ともに前年度の参加者数を上回り、年度合計で初の 1,000 名越え（1,040 名、79 名増加）の動員を達成した。内訳としては、本学を第 1 志望とする高校 3 年生の参加者数増加が目立ち、各プログラムの内容充実と連関して、2017 年度入試の志願者数増加につながった。</li> <li>4. 大学院（看護栄養学研究科・助産研究科）の学内説明会を両学科全学年を対象に、初めて実施した。</li> <li>5. スマートフォン向けのホームページの運用を可能としたほか、教職員からの掲載情報提供の協力を得て、ホームページおよび FB 等 SNS による学生の活動情報発信を強化した。</li> <li>6. 昨年度からの各種データの公表に続き、本年度はオープンキャンパスへの参加状況、参加者傾向（学年、ランク、地域、志望度、希望する入試種別、関心のあるプログラム等）、志願・入学との相関などを分析し、広報委員会および学園運営連絡会等で報告し、学内の情報共有を図った。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学部入学志願者数および入学者数の安定的確保のための諸活動の充実</li> <li>2. 接触者の志願率・入学定着率の向上のための企画等の充実</li> <li>3. 天使大学・大学院広報活動（情報収集および情報発信）システム作り</li> <li>4. 大学院（看護研、保健師・助産師、高度実践看護師）広報の充実</li> <li>5. 入試委員会および各機関との連携強化による広報活動の充実</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>天使大学の情報を発信し志願者確保のために、広報活動を分割して分析、対策、実施し評価を次の計画につなげており、学内外の関係部署との連携も計画的に実施されている。18 歳人口の減少にも強い本学の広報活動を目指して充実していくことを期待する。今後も各学科、大学院の志願者の確保に向けて学内での連携、協働を強化していくことが望まれる。</p>



### Ⅲ. 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</li> <li>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教育研究組織としての適切性」の検証について 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教員組織やその構成等について、自己点検委員会からの評価等を踏まえて、毎年度の人事方針や具体的な人事配置の検討に生かすなど、本学の教育研究組織としての適切性について、引き続き検討を行う。</li> <li>2. 教員組織について (1)2016年度人事方針においては、前年度同様に、看護栄養学部の教員定数は67名以内、助産研究科は15名以内、嘱託教員及び特任教員の数は、それぞれ3割程度とした。 看護栄養学部の教員定数67名の内訳については、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科7名である。 (2)人員の確保については、看護学科教員の人材確保が極めて厳しい環境にある中で、教員採用について全学的に取り組んでいるところであるが、2016年度末までに15名の退職が見込まれる中で、新年度の採用が決まったのは10名となっている。教育の質保証の観点からも、教員の確保が十分とはいえない状況である。 特に、大学院における高度専門職養成に見合う教員組織の充実が求められているが、十分ではなく、今後、早期に教員確保に取り組むことができるよう、適切な方策について検討する必要がある。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</li> <li>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員確保に向けた取組を進める。</li> </ol>
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教員組織については、看護系大学・学部新設や栄養学科新設に伴う教員の異動があり、補充しているが、現在、2020年度開始を目途に新カリキュラム、学生定員増を検討中であり、併せてそれに見合う教員組織についても検討していく必要がある。(学長)</li> <li>2. 本学にとっての課題は大学院担当教員の充実である。時宜を得たテーマで大学院生を引き付け、研究指導ができる教員を求め、配置していくことが肝要と思われる。また、広報についても学部学生のみでなく、学び直しやキャリアアップが必要な社会人に向けた情報提供の強化が必要と思われる。(学長)</li> <li>3. 教員の不足は、学生の教育に関わる問題であり、早急な対策が必要である。教育の質保証の観点からも、研究環境の充実をさらに推し進める必要がある。(自己点検委員会)</li> </ol>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために研究報告会の定例開催を行う。</li> <li>2. 紀要第17巻(第1号・第2号)を発刊する。</li> <li>3. 競争的外部資金導入のための情報収集と研究環境整備について検討する。</li> <li>4. よろず相談を継続し、若手研究者育成のための具体的方策を検討する。</li> <li>5. 本学の教育研究に関する講演会を企画・実施する。</li> <li>6. 2015年度の委員長提言について、今後も引き続き要請を行う。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究報告会は2017年3月17日(金)に特別研究費による報告4件を行った。</li> <li>2. 紀要は、第17巻の第1号及び第2号を発刊した。投稿者が減少していることについては、引き続き対応策を検討する。</li> <li>3. 今年度の科研費採択数は継続の4件に留まった。申請件数は計14件。 科研費獲得のための講習会を2016年8月22日(月)に開催し、科研費採択審査委員経験者である高島郁夫教授にアドバイスをお願いした。参加者は22名。</li> <li>4. 若手研究者の多様な質問に応じることができるよう相談体制を継続した。</li> <li>5. 佛教大学の松岡 千代教授を講師として招聘し「災害時における生活支援—中長期的支援に求められる視点—」と題する講演会を2017年2月28日(火)14時から6101講義室で行った。参加者は28名であった。大学院生の関心が高かった。</li> <li>6. 2015年度委員長提言について             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組織の見直し(教員定数を早急に充足させる。助手・助教の定員を増やす。さらに研究指導者と若手研究者の一对一の研究指導体制を構築し、博士号を取らせる。)について、教員数不足の現状を共通理解することはできたが、危機的状況の改善策の提案には至らなかった。2016年度博士号取得者は1名に止まった。</li> <li>2) 研究費の増設(若手研究者向けの特別研究費枠を設ける)について、2016年度の特別研究費決定が遅れ、応募総額が予定額に達しなかった現状から、実効性ある方策を次年度以降に再検討する必要がある。</li> </ol> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<p>活動目標6項目については、引き続き継続して実施し、かつ要請していく。特に6については、教員定数充足等や研究指導体制の充実を要請していく必要がある。</p> <p>また、若手の教員が積極的に研究費取得を目指すような環境を整えていくことも必要である。紀要については、第18巻第1号、第2号を発行する予定である。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2015)年度の課題を踏まえて、今年度の活動目標が策定され、さらに各目標に対して評価が行われ、次(2017)年度の課題へとつながっている。自己点検評価のPDCAサイクルが適切に実施されており評価できる。活動目標6の提言について、昨年度から引き続き、次年度に継続されている。活動の評価にあるとおりの実効性のある方策が望まれる。</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 迅速な倫理審査の実施</li> <li>2. 新しい委員会規程の下での委員会業務の遂行</li> <li>3. 研究倫理に関する研修活動と情報提供</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昨年度から導入している「天使大学における倫理審査のためのチェックリスト」について内容を一部変更した改訂版を作成し、年度始めから利用した。主な改正点としては、申請前に研究倫理に関する何らかの研修を受けることを義務付けたこととともない、その有無を記載する欄を新たに設けた。また、現行の国の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせて迅速審査手続きも導入したが、当面は研究計画の軽微な変更等に限り迅速審査の対象とし、それ以外のものはこれまで同様に委員会の中で審査することとなった。          なお、今年度は全体で 件の研究倫理審査申請があった。各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請書類等を確認しているが、申請者本人の事前チェックが不十分なものも多く、昨年度同様その対応に相当の時間を要した。よって次年度は、チェックリストの適切な使い方についてさらに周知徹底させる必要があると思われる。</li> <li>2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程の改正を昨年度末に実施し、委員会構成員の変更（外部委員の登用）および迅速審査手続きの導入、委員会審議事項への利益相反の明記などを盛り込んだ新しい委員会規程の下で業務を遂行した。          なお、昨年度までは本委員会に予算は付かなかったが、外部委員の導入に伴いその人件費が発生し、また年一回の研修会の機会確保が現行の倫理指針で定められているため、そのための講師招聘のための経費等を今年度から予算とし計上している。</li> <li>3. 従来同様、年度始めの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の手続き等の研修会を実施し、研修会参加者には研修を受けた旨の修了書を発行した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来通りの迅速な研究倫理審査を実施すること。</li> <li>2. 国の倫理指針に基づきながら委員会業務を遂行すること。研究倫理に関する研修会の実施や、研究倫理に関する幅広い情報提供の実施。</li> <li>3. 学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら、関係する情報の共有を図ること。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨（2015）年度の課題と今（2016）年度の活動目標との整合性を意識すべきである。今年度の各目標に対して評価が行われ、次（2017）年度の課題へとつながっている部分は、自己点検評価のP D C Aサイクルが適切に実施されており評価できる。</p>



IV. 研究活動・研究環境

担 当：病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 天使学園病原体等安全管理委員会規程（規程）および天使大学病原体等安全管理マニュアル（マニュアル）に従い病原体を安全に管理する。</li> <li>2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。</li> <li>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 規程およびマニュアルに従い病原体を安全に管理した。</li> <li>2. 病原体等の分与の実績は無かった。</li> <li>3. 6月8日付の文部科学省の病原性微生物の保管・管理の徹底及び保有状況調査について調査報告書を提出し適切に対応した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引き続き病原体を安全に保管・管理する。</li> <li>2. 病原体等の入手・分与の際に安全性を考慮し対応する。</li> <li>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>規定および管理マニュアルに従い、安全に保管・管理されている。</p>

V. FD活動等

担 当：FD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 「教育の質保証」の向上を図るため研修会活動等を行う。          1) FD研修会の開催：カリキュラムを中心としたFD研修会を開催する。          2) 学生授業評価アンケートの実施          3) 委員の研修会参加</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. FD研修会の開催          障害者差別解消法が施行（平成 28 年 4 月 1 日）されたことに伴い、その概要と合理的配慮を学ぶことを目的として、NPO法人えじそんくらぶ代表の高山恵子氏を招聘し、「学生の能力を最大限引き出す支援-合理的配慮の視点から-」と題して第1回の研修会を2016年10月3日（月）に開催し、47名の教職員が参加した。          発達障害の種類やその特徴と合理的配慮の方法について、講師自身の体験も交えて講演頂き、アンケート結果からも満足度の高い研修会が開催できた。          第2回は、昨年度に引き続き大阪大学全学教育推進機構准教授の佐藤浩章先生を招聘し、「3つのポリシー策定の意義と一貫性構築手法」と題して2016年12月27日（火）に開催した。午前中は全教員対象の講義で51名が参加し、午後は学科・科の代表者18名でカリキュラムマップ・ツリー作成ワークショップを実施した。          2017年4月には3つのポリシーの公表が義務化されるため、3ポリシー策定の意義と見直し、さらにマップ・ツリー作成法等の意義深い研修機会を提供できたと考える。</p> <p>2. 学生授業評価アンケートの実施          昨年度に検討した新方式によるアンケート実施の初年度であった。集計表には、新たに科目責任者が記載する「改善の方策欄」を設け、次年度に向けての授業改善法とその内容を具体的に記載する形式とした。その実施度や効果測定等は次年度以降の課題となるが、科目責任者の授業改善への取り組みが可視化された点で、一歩前進したと考える。          なお、非常勤講師への説明を丁寧に行うために、改善の方策が記入された集計表の非常勤講師への配付は、科目責任者（科目責任者が非常勤講師でオムニバスの場合は、学内の科目調整者）を介することに変更した。また、看護学科臨地実習科目の回収率の改善が課題として共有された。調査から公表までの一連の業務プロセスとあわせて検討を重ねる必要がある。</p> <p>3. 委員の研修会参加          近年は市内や近郊、特に北海道大学において無料で受講できる研修会が多く開催されている。そこで今年度は、本学も加盟している北海道地区FD・SD推進協議会を通じて配信される研修会の案内を学内LAN掲示板に掲載し、FD委員以外の教員も研修に参加できるよう情報提供を行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2016年度第1回FD研修会のアドバンス版として、学修に困難のある学生への対応を事例に基づくシミュレーション演習で学ぶ研修会を企画・実施する。          2. 学生授業評価アンケートの円滑な実施を図る。          3. 授業改善の取り組みの一つとして、教員間の授業参観を試行する。          4. 委員を外部研修会に派遣し、新規事業に関する情報収集を行う。</p>
<p>自己点検          評価委員会          からの評価</p>	<p>障害者差別解消法の施行を踏まえた、学修に困難のある学生への対象理解・対応等及び、3ポリシー策定の意義に関係するテーマでの研修はともに、継続的な取り組みとして評価できる。いずれも、より具体化して、各学科の教育内容・方法の見直しあるいは学生支援に活用できるよう、今後の研修に期待する。</p>

## VI. 社会貢献

担 当：地域連携等委員会

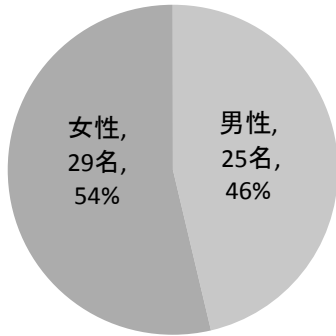
<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2016 年度天使大学・北海道薬科大学公開講座の実施・運営及び 2017 年度公開講座の企画・検討</li> <li>2. 東区役所との連携事業及び 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進</li> <li>3. 大学間（北海道薬科大学等）の連携事業等の展開</li> <li>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北海道薬科大学（以下、「薬科大」という）と連携した公開講座は今年度で 6 回目である。薬科大と連携することにより、医療、薬学、看護の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説する講座を実施することが出来た。受講申込者は 2015 年度と比較すると 0.5%減少したが、アンケート結果（別紙 1）より受講者からの評価は高く、地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。</li> <li>2. 東区役所と連携し地域住民対象に 7 件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。今後もこれらの事業に関して継続できるようサポートする。 また、東区 5 者連携事業として、「ひがしく健康・スポーツまつり」で[天使大の健康塾]の企画・運営を行った。地域住民参加型の企画内容で、本学は学生ボランティア協力のもと、食事バランスチェック・血圧測定・血管年齢測定・骨密度測定を行った。 説明が解りやすく参考になったと好評で、今後も委員会として充実した企画・運営を行っていく。</li> <li>3. 大学間連携として、薬科大が主体で実施している「夕張地域医療体験」への学生参加者の募集を行い、事前準備・事後報告を行った。</li> <li>4. 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公開講座で薬科大と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。</li> <li>2. 5 者連携事業である「ひがしく健康・スポーツまつり」の「天使大の健康塾」について学生の参加を募り、充実した企画にする。</li> <li>3. 薬科大との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援、連携内容について薬科大から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。</li> <li>4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を把握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>薬科大と連携した公開講座に一定の受講者の参加、継続して高い評価を得ていることは評価できる。地域や他大学との連携の更なる推進に向けて、活動を進めていくこと。</p>

2016年度 天使大学・北海道薬科大学連携公開講座  
 ■講座全体等に関するアンケート

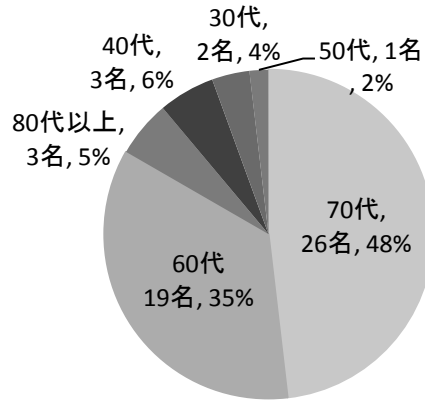
回答人数 54

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

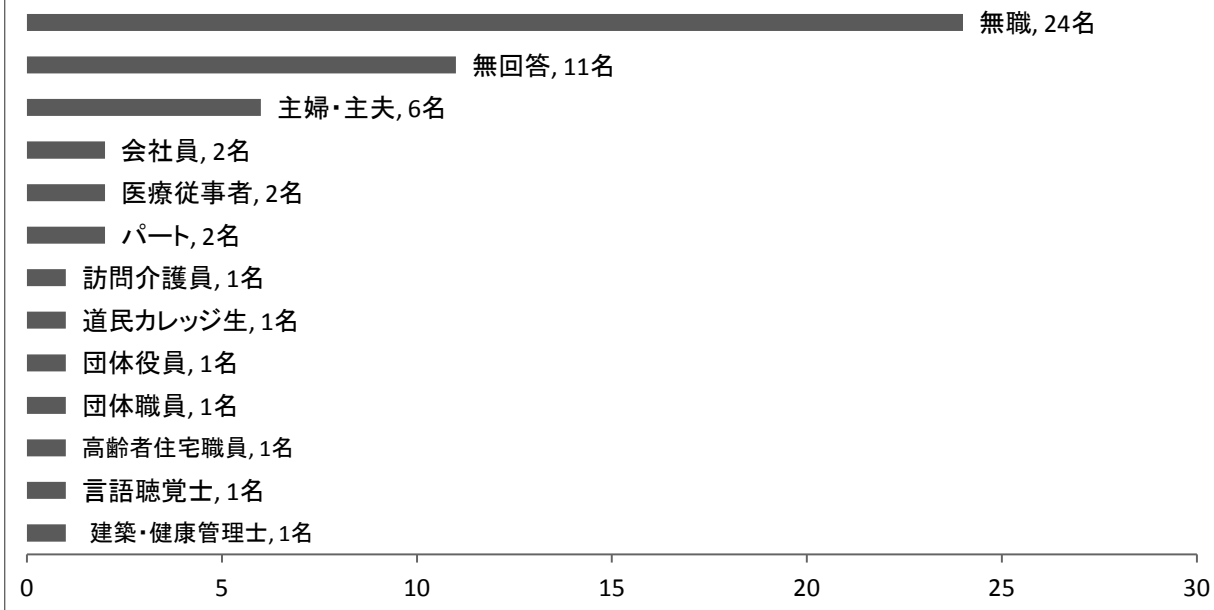
1.1) 男女別



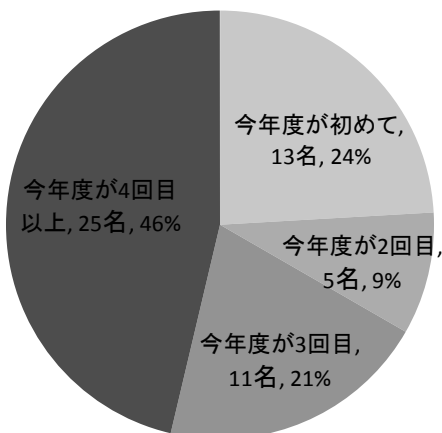
1.2) 年齢別



1.3) 職業別



2. これまでの参加回数



## 2016年度 天使大学・北海道薬科大学連携公開講座

### ■講座全体等に関するアンケート

#### 3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	7人	11.3%
②	掲示ポスター	3人	4.8%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	34人	54.8%
④	新聞掲載	3人	4.8%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	9人	14.5%
⑥	ホームページ	0人	0.0%
⑦	その他	6人	9.7%
	無回答	0人	0.0%
合計		62人	100.0%

※その他内訳…回覧板(2) 知人・友人より(2) 区民センター、紀伊国屋書店など(2) 区役所のパンフレット(2)

#### 4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	43人	38.4%
②	講師陣に魅力を感じて	1人	0.9%
③	2大学連携の公開講座だから	15人	13.4%
④	通しやすい会場だから	22人	19.6%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	27人	24.1%
⑥	その他	4人	3.6%
	無回答	0人	0.0%
合計		112人	100.0%

※その他内訳…104歳の母を介護しています。最近では食事の量が少なく、いつも寝てばかり。その上、昼夜逆転で寝不足。参考になることがあるのではと思い参加した。

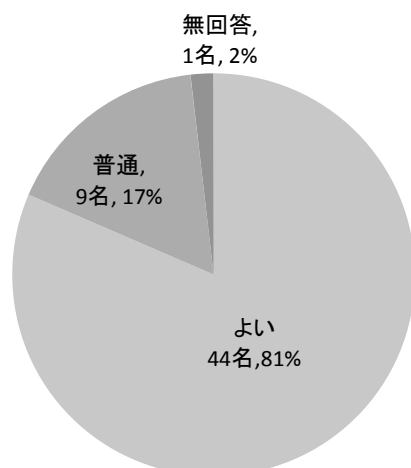
働いているので日中でない方が参加しやすい。

道民カレッジ連携講座だから

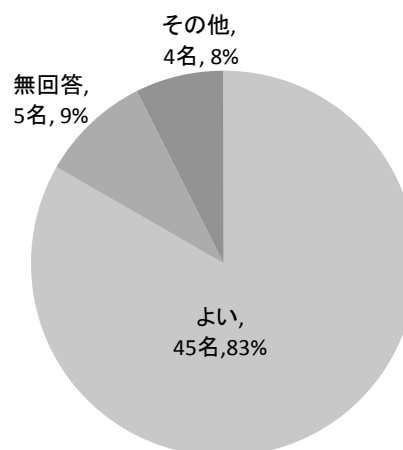
記入なし

#### 5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。

##### 5.1)全体テーマについて



##### 5.2)回数について



※その他内訳… 4回が良い(2) 3回が良い(1) 6回が良い(1)

## VI. 社会貢献

担当：ヘルスケア実践開発プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフステージ支援事業</li> <li>2. 認知症サポーター養成事業</li> <li>3. 東区地域診断</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフステージ支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>下記の事業を実施した。地域の高齢者や子育て世代の方へのサポートでは参加者から、学生達への取り組みについて高い評価を得た。</li> <li>・札幌市東区「すこやか倶楽部」（札幌市委託事業）への協力 「低栄養を防ぐ食事」2016年9月23日(金)鉄東会館：参加者30名・学生6名、9月29日(木)むつみ会館：参加者25名・学生7名、「冬場にかかりやすい高齢者の病気と予防方法」2017年2月23日(木)むつみ会館：参加者24名・学生9名、2月24日(金)鉄東会館：参加者31名・学生11名。</li> <li>・高齢者「ふれあい体験」東区連絡協議会の協力を得て実施した。</li> <li>・東区北光町内会協力を得て「東区北光地区独居老人宅への訪問」をした。</li> <li>・地域包括ケアシステムについての研修会を実施した。 2016年10月26日(水)18:00～19:30(6101)参加者15名</li> <li>・天使大学子育て支援事業 2016年10月8日(土)参加者：2名・学生8名 2017年3月10日(金)参加者：5組・学生10名。</li> </ul> </li> <li>2. 認知症サポーター事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年1月17日学生を対象に養成講座を実施した。学生からは好評であった。 受講生：栄養学科49名、看護学科3名。</li> </ul> </li> <li>3. 東区地区診断 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度については計画をしていたが、要請がなかった。</li> </ul> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフステージ支援事業は札幌市東区、東区北光町内会等との連携が構築されつつある。 開催の日程などの課題（休み中の開催）があるが、札幌市東区や町内会との連携を深めて充実させていく予定である。</li> <li>2. 認知症サポーター養成講座は看護学科は授業の中でも実施されているが、栄養学科生にとっては、学びの場としても活用されている。今後も継続して実施する予定である。</li> <li>3. 東区地区診断については、要請があれば検討していきたい。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>ライフステージ支援事業・認知症サポーター事業が、学生の学びにつながっていることから、今後も一層の活動を期待する。また母親たちのニーズに応じて、子育て支援事業がより活発化することを期待する。</p>

## VII. 学生生活

担 当：学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「学生生活ガイドブック」、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善</li> <li>2. ソーシャルメディア・ガイドラインの作成</li> <li>3. 全学的な「危機管理体制」構築の要望</li> <li>4. 学生の「健康調査票」の実施・管理・集計</li> <li>5. アッセンブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）の改善</li> <li>6. 『『2014 年度 学生生活についての調査報告書』に対する天使大学としての回答』の履行状況の確認</li> <li>7. 海外研修プログラムのさらなるブラッシュアップと「第2の渡航先」の検討</li> <li>8. 広報委員会と連携した、学生募集活動のサポート</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「学生生活ガイドブック」に掲載する内容を、「学生生活支援に関する情報（教務事項等の削除）」、「学生がより必要とする情報」に精査した。また、「学生生活ガイドブック」、「学生相談室のご案内」をスマートフォン・パソコンから情報検索性の高いかたちで閲覧できるよう、次年度予算（学務課 学生担当）に計上した。さらに、「学生生活ガイドブックの改善」と連動するかたちで、「学生・卒業生等のユーザビリティ、リーダビリティの向上」という観点から、本学 web サイトの「在学生の皆様」、「卒業生の皆様」ページの抜本的見直しを開始した。今後、学務課・広報委員会等関係部署と連携をとりながら本学 web サイトの改善を進める。</li> <li>2. 2016 年 10 月、図書情報課が学生向けに「自分の身を守るための SNS 利用の手引」を発行したことを受け、今後は図書情報課と連携しながらその啓発に努める。</li> <li>3. 今年度も動きがなかったので、引き続き学長に対し要望を続ける。</li> <li>4. 「健康調査票」を、これまでの「単年度で1枚」の記載から、「4年間で1枚」の記載に改訂した。これを機に記載項目も、より実用的なものに改善した。</li> <li>5. 学生に対して行った「学生生活に関する調査」のなかで「アッセンブリー・アワー 学生委員会担当プログラムへの関心度」を調査し、学生からの関心度が低いプログラムを取りやめた。今後も「(大学として伝えるべき)情報の重要度」、「学生の関心度」、それを伝える「方法」（講演形式、web 上での動画形式、web 上での文章形式等）を総合的に考え、実施するプログラムの選定を行う。</li> <li>6. 『『2014 年度 学生生活についての調査報告書』に対する天使大学としての回答』の履行状況を確認した。履行が十分に進んでいない点については、2017 年度も引き続き強く履行を求める。</li> <li>7. 2016 年 6 月にマレーシア クアラルンプールでテロが発生したことを受け、今後しばらく安全性が担保されないと判断し、渡航先を変更することとした。学生の意見交換会を3回開催し、「学生の希望」と「旅費」を勘案した結果、渡航先をイギリス（ロンドン・プリマス）に決定した。参加募集の結果、33名の学生から申し込みがあった。2017年3月11日～20日の旅程で実施し、詳細な点検評価は実施後に行うこととする。また、事前オリエンテーションの内容を昨年度よりも充実させるとともに、欠席した学生は事前オリエンテーションの映像を You Tube（海外研修参加学生だけの限定公開）で視聴できるようにした。英語でのコミュニケーションに慣れさせるため、田島委員、ケン・スレイマン講師の協力のもと「イングリッシュカフェ（昼食を食べながら1時間程度英語のみで会話する）」を3回実施した。また、北海道の「海外教育旅行支援事業」として100,000円の支援をいただいた。</li> <li>8. 年度を通じて情報・写真の提供を広報委員会と相互に行い、十分に連携できたと考える。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「学生生活ガイドブック」、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善</li> <li>2. 学生のボランティア活動、部・サークル活動のサポート体制の充実</li> <li>3. よりよい学生支援のための学内の情報共有体制の構築</li> <li>4. 「2017 年度 学生生活についての調査」の調査項目の精査</li> <li>5. 国際交流委員会と学生委員会との業務分掌の確認</li> <li>6. 全学的な「危機管理体制」構築の要望</li> <li>7. 広報委員会と連携した、学生募集活動のサポート</li> <li>8. その他（学生が使用する各種帳票の改善・精査、遺失・拾得物の取り扱いの改訂、アルバイト揭示基準の作成、学内での傷病者対応のマニュアル化等）</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学生生活の支援に有効な情報を適切な方法で学生に届けられるよう、学生生活についての調査結果の活用を含めて引き続き検討すること。特に、私生活や実習先での SNS の利用について改めて学生に利用の手引き等を活用して注意喚起するなど、学生自らが危険を回避することができるよう、周知徹底に努めることを期待する。</p>



VII. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。</li> <li>2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。</li> <li>3. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。</li> <li>4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。</li> <li>5. カトリックセンターとの連携を図る。</li> <li>6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。</li> <li>7. 「2016年度カトリック医療関連学生セミナーin札幌」の宗教的行事を支援する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教的行事の活動を通して隣人愛の実践に励んだ。</li> </ul> </li> <li>2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学生および教職員を対象とする宗教的行事を宗務委員が行った。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①イースターの集い、 ②クリスマスの集い、 ③修了・卒業感謝のミサ</li> <li>④毎週のミサ、 ⑤その他の宗教行事（クリスマスツリー点灯式、灰の儀式）</li> </ol> </li> <li>2) 学生を対象とする宗教的行事を下記の担当者が行った。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①チャペルアワー：聖書の解説を掲示板で示した上で、小原委員長が行った。</li> <li>②学生修養会における宗務関連の支援：ケン委員が「講話」「祈り」「ミサ」を行った。</li> <li>③アッセンブリー・アワーにおける宗務関連の講話：ケン委員が行った。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3) 教職員を対象とする下記の宗教的行事を宗務委員が行った。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員修養会の運営、 ②退職される教職員への感謝のミサ</li> </ol> </li> <li>4) 上記の宗教的行事を行うにあたり、渡邊学務課職員が掲示板やT-NAVIなどを用いて行事の目的や内容などを周知し、学生や教職員の参加を促した。</li> <li>3. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学内およびチャペル等の環境整備を行った。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①聖堂の環境整備：毎週月曜日に生花を聖堂に飾った（四旬節中は除く）。</li> <li>②クリスマスの環境整備：聖堂にツリー、屋外のモミの木にイルミネーション、廊下に馬小屋を飾った。クリスマスキャロルの放送を行った。</li> </ol> </li> <li>2) 宗教的行事のための物品調達（復活のローソク、ホスチア）を行った。</li> </ol> </li> <li>4. カトリックの精神に基づく研究会へ参加する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会への参加は多忙のため控えた。</li> </ul> </li> <li>5. カトリックセンターとの連携を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員修養会の企画内容をカトリックセンターに確認した。</li> </ul> </li> <li>6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡邊学務課職員が学習支援教員と各委員会等の意向を伺って日程を調整した。</li> </ul> </li> <li>7. 「2016年度カトリック医療関連学生セミナーin札幌」の宗教的行事を支援する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 準備過程（本学学生の参加者募集等）の業務を宗務委員が行った。</li> <li>2) セミナー当日の業務（感謝のミサ準備等）を宗務委員が行った。</li> </ol> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「カトリック医療関連学生セミナー」が東京で開催されるので、学生の参加を促す。</li> <li>2. アッセンブリー・アワーの在り方をカトリックセンターと連携して改善する。</li> <li>3. 体育館で行う行事の場合、学務課と事前に相談して設営時間の確保に努める。</li> <li>4. 6月末に退職した本田宗務委員に代わる委員の補充を事務局長に要望する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学園創立70周年にあたる本年度は、建学の精神についての理解を深めてもらう絶好の機会である。このため、宗務委員会は教職員及び学生に対して各種宗教行事への参加を促すとともに、カトリックセンターと連携して積極的に建学の精神について情報発信することを期待する。</p>



## VII. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパスにおける人権意識を成熟させ、大学生生活環境を快適なものとするため、ハラスメント問題について啓発・点検・支援・問題解決を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入学生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。</li> <li>2. 新入生ガイダンス時にガイドライン配付と説明を行う。</li> <li>3. 教職員を対象とした研修会を実施する。</li> <li>4. 啓発 DVD 上映会の開催を行う。</li> <li>5. 防止のためのポスター作成等により全学的に啓発活動を行う。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャンパス・ハラスメントに関する講演会を開催した。 6月14日13:30~14:30「ガイドラインを用いてキャンパス・ハラスメントを考える」荒井春生（天使大学キャンパス・ハラスメント対策委員会委員長）。対象は新入生、教職員。 参加状況：看護学科77名、栄養学科27名。キャンパス・ハラスメントについて理解を深めることが出来た。次年度も継続的に開催し、さらなる理解を深める。</li> <li>2. 新入生へのガイダンス及びガイドラインの配付はキャンパス・ハラスメントに関する講演会の中で実施した。</li> <li>3. 教職員を対象とした研修会の案内がなかったため、実施できなかった。</li> <li>4. 開催時期の調整がつかず、実施できなかった。</li> <li>5. 啓発活動のためにポスターを前年度に引き続き、学内に掲示した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入生へのキャンパス・ハラスメントに関する正しい知識や認識を深めるため、講演会などの全員参加に向けて働きかけを行う。</li> <li>2. 委員の学外研修会参加など、学生からの相談や学内で発生しているハラスメントに、よりの確に対応するスキルを学ぶ機会が必要である。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>新入生を対象に学生の理解を深める講演会を実施し、学生・教職員が人権意識を成熟するように企画運営していることは評価できる。今年度実施できなかった教職員を対象とした研修会の開催の実現および委員のスキル向上への対策が必要である。</p>

VIII. 就職支援

担 当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施</li> <li>2. 就職活動に関する支援活動</li> <li>3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援</li> <li>4. 就職相談室の環境整備</li> <li>5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価</li> <li>6. 就職に関する情報交換及び最新情報収集</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 各学科学年の就職活動時期に合わせてガイダンス・セミナーを企画し実施した。 今年度、看護学科の学生数数が第一志望の病院から内定もらえない状況となり、急遽、11月に3年次生対象の「就活開始ガイダンス」を実施した。 ガイダンス等の最後の時間を利用し、他大学の就職状況報告、今後のガイダンス・セミナー等の案内を行い、また、スーツ着用を義務づけた結果、ガイダンス・セミナーを受ける姿勢に変化が見られ、就職活動に対する意識が高まった。</li> <li>2) 学内採用説明会の企画・実施 栄養学科3・4年次生対象に学内企業説明会を企画し、7回(企業15社)開催した。</li> </ol> </li> <li>2. 就職活動に関する支援活動             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等、就職活動全般の支援 就職相談員が予約制で就職活動最終段階まで様々な支援を行い内定につなげた。 今年度、札幌市の栄養士に6名(募集枠8名)合格した。就職相談員が試験前日まで、面接演習、身だしなみ等の指導を行い合格につなげたことは高く評価できる。 内定率(卒業式時点)：看護学科100%(前年度100%)、栄養学科92.1%(前年度88.4) 「履歴書」の改訂を行い、自分をアピールすることができ、学生が書きやすい書式に改訂した。また、「履歴書」「封筒」ともに無料(条件付)で提供すること開始した。</li> <li>2) 札幌新卒応援ハローワークによる模擬面接演習(1人30分) 週1回から週2回に増やし、ハローワーク相談員が模擬面接演習を行った。外部の方々の協力も得ることにより、面接練習の機会が増え、多くの学生を内定につなげた。</li> </ol> </li> <li>3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 教職課程委員会と連携し支援を行った。教職課程担当教員、教職課程委員会等が出題傾向等の分析を行い、試験対策等のガイダンスを実施した。 北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、4名であった。(全採用登録者26名中、7名登録(過年度生3名含む))</li> <li>4. 就職相談室の環境整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 個人面談ブースの設置 パーティションを使用し、個人面談ブースを設置した。その他、エアコンの設置、不要な備品等の整理を行い、学生が相談しやすい環境に整えた。 就職相談室の設置場所の変更を2015年度同様に継続して要望した。</li> </ol> </li> <li>5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 調査の実施、分析・評価 2015年度卒業(修了)生、看護95名・栄養97名、助産23名、看栄研5名、計220名を対象に就職状況調査(2016年12月～2017年1月末)を実施した。全体回答率は、41.0%(前年度44.4%：調査結果学内LAN掲示板UP済)であった。今後、調査の結果を分析し、今後の就職支援に役立てる。</li> </ol> </li> <li>6. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 日本私立大学協会等の主催する研修会等で他大学と情報交換を行った。また、就職情報会社等から情報収集を行いガイダンス等で就職活動に関する最新情報の提供を行った。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの内容を充実させ、回数ではなく、対象にあった時期に実施し、就職活動に対する意識を高める。</li> <li>2. 学生が第一志望の企業・病院等に内定するよう就職支援を強化する。</li> <li>3. 就職相談室は、設置場所の変更を強く要望する。学生が安心して相談できる環境を整備する。</li> <li>4. 就職状況調査(離職調査)の回答率を上げるために在学中のガイダンス等で卒業後、「就職状況調査」を実施することを周知する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>専門職業人の育成という本学の使命の成果が問われるのが就職である。2016年度は、就職状況調査等の分析を踏まえた、就職ガイダンス、面談・面接演習等の効果的な就職活動支援策が早期の就職に結実したので、引き続き支援策の充実に期待する。また、就職の内定状況等については、学生指導の観点から指導教員との一層の情報共有に期待する。</p>

## IX. 図書館

担 当：図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機関リポジトリの運用：収録コンテンツの整備計画策定と実施</li> <li>2. アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施</li> <li>3. 図書館ホームページの維持管理と Facebook 機能の活用</li> <li>4. 洋雑誌の利用頻度調査結果に基づく見直しと電子ジャーナルへの切り替え</li> <li>5. 登録図書の計画的除籍及び廃棄(譲渡)と移管図書の再活用</li> <li>6. 将来構想等への新棟建築素案の提示(情報処理室を含む)</li> <li>7. 防災対策と必要備品等の準備(情報処理室を含む)</li> <li>8. 北海道地区私立大学図書館協議会幹事館としての活動(業務研究会開催など)</li> <li>9. 利用者の要望に基づくサービス改善の実施</li> </ol>
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎年教員の退職が多く、収集計画が立てにくい状況にあるため、今後の進め方について、改めて協議することとしたい。</li> <li>2. 文献検索ガイダンスについては、講義の一助として実施するのはもちろん、個人の要望にも応じ、学生の自発的学習を支えるという点で評価されている。</li> <li>3. 図書館ホームページや Facebook については、一定程度利用促進が図られた。</li> <li>4. 洋雑誌についてはここ数年、各学科・科・研究科の委員の下で利用頻度に基づく見直しを行い、厳選された感がある。また、2016 年度の後期からメディカルオンラインを導入し、より利用者の要望に応えられる環境が整った。</li> <li>5. 除籍及び移管図書の再活用は順調に行われ、今後も続けたいと考えている。</li> <li>6. 学園創立 70 周年事業については、法人と教職員、後援会や同窓会が協力して実施することが決定している。今後出される将来構想や中・長期計画の提示を受けて新しい図書館及び情報処理室の素案を準備したいと考えている。</li> <li>7. 避難訓練が今年度も実施された。防災意識が高まる中、老朽化した施設等への対策が必要と思われる。</li> <li>8. 北海道地区私立大学図書館協議会の第 2 回業務研究会を本学で開催した。常磐大学の寺島哲平氏を講師にお迎えし、図書館ガイダンスをゲーム化した Libardry についてご紹介を頂いた。道内大学から 35 名の方が参加された。</li> <li>9. 新棟建設が叶うまではサービス面で補うこととし、要望のあった①貸出冊数の増冊、②卒業生への貸出、③パソコン用コンセントの増設、④ペットボトル等の館内持込みなどを実施した。 これに伴い、図書館利用規程案を作成し、委員会の了承を得て、教育研究評議会に上程することが決まった。</li> </ol>
次年度への課題	<p>いくつか達成された課題もあるが、次年度以降も継続して実施すべき点が残されているため、次年度も同じ活動目標を掲げて、図書館と情報処理室が連携して対応していきたいと考えている。</p>
自己点検 評価委員会 からの評価	<p>アクティブ・ラーニングの支援やメディカルオンラインの導入、貸出の対応等は、図書館機能の充実となり、またニーズに応じたサービスの改善により、利用しやすい図書館となっている。老朽化した施設等への対策として、防災計画の立案および新棟建設の早期実現は、安全な環境整備に向けて重要な課題と考える。</p>

X. 情報処理システム

担 当：図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理</li> <li>2. 情報処理室授業支援システム、学内 LAN 掲示板の更新と利用促進</li> <li>3. 遠隔地実習や講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用</li> <li>4. 情報セキュリティに関する情報収集と対策(規程整備など)</li> <li>5. 事務局内のシステム導入に伴うサーバ、無線 LAN 等の整備・維持管理</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコン等の整備・維持管理については、総務課併任の専任職員の協力を得ながら、専任職員及び嘱託職員各 1 名による体制が維持され、円滑に行われた。</li> <li>2. 情報処理室授業支援システムは問題なく利用された。また、情報処理室の土日開室を行い、学生の自習時間確保に努めた。実習中や試験前は多くの学生が利用したが、時期により利用者が少ない日もあった。学内 LAN 掲示板についてはワークフローや掲示板の利用促進の検討を行ったが実現に至らなかった。</li> <li>3. 遠隔地実習や講習会実施を支援するための Live On システムの活用については、助産研究科の教授会や遠隔地の委員を加えた会議など、付随的な課題にも活用された。講義では Live On を使って、演習の状況を情報処理室に中継し、それを見た学生が演習内容を評価する授業(カウンセリング演習)などが行われた。</li> <li>4. 公益財団法人私立大学情報教育協会主催の『大学情報セキュリティ研究講習会』に、専任職員 2 名が参加した。それを踏まえ、学内ネットワークサービス利用ガイドライン(学生用・教職員用)、情報システム管理運用及び利用に関する規程、SNS 利用の手引きなどを整備し、学内に周知した。また、新入生向けセキュリティ講座を実施した。</li> <li>5. T-NAVI 運用開始に伴う、運用支援、データ登録支援を行なった。また、出欠管理システム導入に伴う運用検討支援、無線 LAN 環境性能評価、性能分析資料作成などについて各課と連携し対応した。  2017 年度にむけては、無線 LAN 環境の利用促進を図ると共に、学務課と協力して出欠管理システムの安定稼働を目指す。また、2018 年度のサーバシステム、ネットワークシステムのリプレースに向けた検討も行っていく。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・管理</li> <li>2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進</li> <li>3. 学内 LAN 掲示板の更新と利用促進</li> <li>4. 遠隔地実習や講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用</li> <li>5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の継続</li> <li>6. サーバシステム、ネットワークシステムリプレースに向けた要件検討</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>無線 LAN 環境や情報処理室の開室時間の拡大、パソコンの貸出など利用しやすい環境に向けての取り組みがなされている。学内 LAN 掲示板の利用促進、Live On システムの多様な活用については全学的にも検討し、さらなる充実が望まれる。情報セキュリティに関する周知、教育、規程作成等の対策の検討が重要と考える。</p>

## XI. 施設・設備

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中長期計画に伴う新校舎建築計画の立案</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 校舎の整備について</p> <p>本学校舎の施設設備は老朽化が進んでおり、その整備更新は課題となっている。</p> <p>新校舎建築計画については、2016 年度中に策定することはできなかったが、学生等からの要望が強かった3号館のトイレ環境の改善を実施したところである。</p> <p>昨年夏には、校舎整備について検討するため、顧問建築士からの新校舎の建設に向けた提案を踏まえて、学園として、整備の方向性について検討したところである。</p> <p>また、昨年10月には将来構想委員会を開催し、その中での議論を踏まえて理事長及び学長からの「将来構想の策定に当たっての基本的な考え方」の中に、校舎整備についても示されている。</p> <p>今後は、昨年12月に理事会で承認されたこの基本的な考え方に基づいて、定員のあり方などの議論を進め、実施時期、事業規模、事業費など、より具体的な内容について検討を進めていく必要がある。</p> <p>2. 第2号基本金組入れ計画</p> <p>第2号基本金は、新校舎建設のため、2009年度から基金造成を行っており、本年度も、着実な基金造成に努めたところである。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 将来構想の検討を進め校舎整備についての計画を策定する。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>2012年度の課題において「新校舎建築計画の立案」が挙げられて以来、未だ、進捗が明確でない。同じ活動目標を数年に渡り掲げながら、明確な進捗がみられない状況は改善の必要がある。将来構想の検討と併せ、計画的に改善に取り組む必要がある。</p>

## XII. 管理運営

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p> <p>学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則及び国立大学法人法等の一部を改正する省令が平成 27 年 4 月に施行されたことに伴い、文部科学省からは改正法の趣旨を踏まえた内部規則の総点検や見直しが求められ、本学として内部規程全般の見直しを行ったところである。</p> <p>今後とも、法令改正の趣旨を踏まえて、教育研究評議会、教授会及び研究科委員会の円滑な実施と運営に努めながら、引き続き学長のリーダーシップが発揮できる環境の整備に努めていく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>教学組織の権限と責任を明確にし、学長のリーダーシップのもと、適正な運営が行われることを期待する。</p>

XIII. 財務

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中・長期的な財政計画の立案</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 昨年 12 月に理事会で承認された天使学園の「将来構想の策定に当たっての基本的な考え方」に基づき、将来構想について検討を進めることとしている。</p> <p>将来構想に関する検討の中で、天使学園の理念、ミッションを実践するための学部・大学院の教育体制に関わる様々な課題についての学園としての方針を踏まえて、将来構想を実施する計画の策定と併せて、本学園の財政状況を踏まえた中・長期の財政計画を検討し、策定する必要がある。</p> <p>特に、将来構想の柱となるような事業については、その実施時期などを考慮しながら、資金需要に対応できるよう財源の確保について検討の上で、中・長期的な財政計画を策定する必要がある。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中・長期的な財政計画の立案</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>将来構想を踏まえた財務計画が円滑に進められるよう、各科や種々委員会とも連携し、適正な財務管理がなされることを期待する。</p>



XIV. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組み「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」に係るシステムの円滑な運用と、新たなシステムの導入</p> <p>2. 点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組みに係る規程類の引き続き改正</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」について</p> <p>学園全体の IT 化を推進するため、2016 年度においては、学生支援ポータルサイト (T-NAVI)、出欠管理システム、新会計システム (キャンパスプラン) の運用を開始した。</p> <p>T-NAVI の導入により、学生への連絡事項は紙による掲示から WEB 連絡に移行し、ペーパーレス化が図られた。また、履修登録については、学生による WEB 入力が可能となり、事務作業の負担が軽減された。</p> <p>後期より稼働した出欠管理システムは、学生及び教員の協力を得て動作検証を実施したが、安定稼働までには至っておらず、継続して改善を図っていく。</p> <p>キャンパスプランについては、現行システムとの並行運用を行っており、今後、新年度における本格稼働を目指して取り組む。</p> <p>ポータルサイト及び会計システムの導入により、煩雑な事務処理を軽減することができたが、導入初年度ということもあり、全学生、教職員が有効に活用するまでには至らず、2017 年度も事務局関係各課が連携して安定的な運用を目指す。</p> <p>2. 「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」について</p> <p>これまで「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」及び「学校教育法施行規則及び国立大学方針法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴い、学内規程等の総点検・見直しを実施し、必要な改正を行ってきており、2016 年度においても法令改正に伴い学内規程についての改正を進めてきたところである。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組み「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」に係るシステムの円滑な運用に努める。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>ポータルサイト及び会計システムの導入により、煩雑な事務処理を軽減できたことについては評価する。事務局各課が連携して更なる安定的な運用を目指すことに期待する。</p>



XV. 自己点検・評価活動

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年報の発行</li> <li>2. 活動報告会の実施による課題及び次年度への改善点の明確化と学内 PDCA サイクル確立の検討</li> <li>3. 前回大学基準協会報告書結果及び 2018 年度審査に向けた準備の検討</li> <li>4. 研究業績システム導入及び運用</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部・看護栄養学研究科及び助産研究科の年報は、予定通り 6 月末に発刊した。</li> <li>2. 活動報告会は 2017 年 3 月 18 日に開催。学内の課題の共有、連携を目指すための報告会は今年度で 5 年を経過し定例化されつつある。しかし、課題の共有を図り全学的 PDCA サイクルによる自己点検評価活動は、未だ十分な活動に至っていないのが現状である。</li> <li>3. 大学基準協会への改善報告書に対し、2016 年 4 月 4 日に検討結果についての通知があった。引き続き努力が望まれるとされた項目があったが、2018 年度審査に向けて改善を検討する必要がある。</li> <li>4. 研究業績システムを導入したことで、入力及び公開がスムーズになった。しかし、大学基準協会の研究業績様式に合わせているため、今後入力項目を増やして充実させる必要がある。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部質保証の充実を目指した大学の自己点検活動の展開</li> <li>2. 自己点検評価の構築</li> <li>3. 年報の作成および報告会の実施（PDCA サイクルとなるものを目指す）</li> <li>4. 2018 年度審査に向けた準備</li> <li>5. 研究業績システムの運用と充実</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部質保証については、医療保健制度・体制の変化に対応できる学生を輩出すべく、3 ポリシーの見直し・検討を 2020 年の新カリキュラム開始を目途に進行させている。</li> <li>2. PDCA サイクルについては、自己点検評価およびその報告会により、課題を共有している。最終的な行動計画・執行の決定は理事会の議を経て行われるが、教学をまとめる教育研究評議会、教学と理事会を繋ぐ学園運営連絡会の役割が大きいため、今後はその会議をより充実させていく必要がある。</li> <li>3. 2018 年度大学評価審査に向けた準備を進める。</li> <li>4. 実習に要する時間が多い教員の研究支援体制をさらに強化し（若手教員指導体制、特別研究費、研究相談等の充実）、研究力・教育力の向上を目指す。</li> </ol>

自己点検・評価資料

## 目 次

I. 学事歴	29
II. 2016年度開講科目一覧	33
1. 教養教育科	33
2. 看護学科	34
3. 栄養学科	36
4. 教職課程	38
5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）	38
6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）	38
7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）	39
III. 学生数・奨学金の採用状況	40
IV. 国家試験合格率	41
V. 就職・進学状況	42
VI. 2017年度入学試験結果	44
VII. 教員組織	45
VIII. 事務組織	46
IX. 研究等の活動	47
X. 組織図	49
XI. 会議の開催状況	50
XII. 委員会構成一覧	58
XIII. 委員会の活動報告	59
XIV. 図書館の利用状況	76
XV. 情報処理室の利用状況	77
XVI. 施設・設備の状況	78
XVII. 財務状況	80

I. 学事歴 (看護栄養学部)

【前期】

	日							行事予定等		臨地実習	
	日	月	火	水	木	金	土			看護学科	栄養学科
4月						1	2				
	3	4	5	6	7	8	9	4日(月) 13:00~ 5日(火) 6日(水) 6日(水)~7日(木) 6日(水)~12日(火) 8日(金)	入学式 新入生オリエンテーション・2~4年次ガイダンス・定期健康診断 2~4年次前期始講 新入生(1年次)宿泊研修「出会いと親睦のゼミ」 履修登録期間(2~4年次、栄編3・4年次) 1年次前期始講		
	10	11	12	13	14	15	16	8日(金)~14日(木)	履修登録期間(1年次)		
	17	18	19	20	21	22	23	21日(木) 午前	イースターの集い・学生総会		
	24	25	26	27	28	29	30				
5月	1	2	3	4	5	6	7				
	8	9	10	11	12	13	14				
	15	16	17	18	19	20	21	18日(水) 午後	合唱コンクール		
	22	23	24	25	26	27	28	24日(火) 午後	避難訓練		
	29	30	31								
6月				1	2	3	4	4日(土)	開講日		
	5	6	7	8	9	10	11	9日(木) 午後 10日(金)~11日(土)	天使祭準備 天使祭		
	12	13	14	15	16	17	18	18日(土)	開講日		
	19	20	21	22	23	24	25	25日(土)	開講日		
	26	27	28	29	30						
7月						1	2	2日(土)	開講日		
	3	4	5	6	7	8	9	9日(土)	開講日		
	10	11	12	13	14	15	16	15日(金)~22日(金) 16日(土)	主たる受講年次が看2・3年次科目定期試験 開講日		
	17	18	19	20	21	22	23				
	24	25	26	27	28	29	30	25日(月)~29日(金)	主たる受講年次が看1、栄1~3年次科目定期試験		
8月											
	1	2	3	4	5	6		2日(火)~4日(木)	主たる受講年次が看2・3年、栄4年次科目追・再試験		
	7	8	9	10	11	12	13				
	14	15	16	17	18	19	20				
	21	22	23	24	25	26	27	22日(月)~24日(水) 22日(月)~23日(火)	主たる受講年次が看1、栄1~3年次科目追・再試験 主たる受講年次が看4年次科目追・再試験		
28	29	30	31				29日(月)	主たる受講年次が栄3年次科目後期学内授業始講			
授業期間	主たる受講年次が看2・3年次科目							4月6日(水)~7月14日(木)			
	主たる受講年次が看4年次科目							4月6日(水)~5月6日(金)			
	主たる受講年次が栄2~4年次科目							4月6日(水)~7月22日(金)			
	主たる受講年次が看・栄1年次科目							4月8日(金)~7月22日(金)			
臨地実習	看2年次	基礎看護学臨地実習II	8月29日(月)~9月9日(金)								
	看3年次	成人看護学臨地実習I									
		老年看護学臨地実習II	8月29日(月)~10月28日(金)								
		母子看護学臨地実習I									
	看4年次	成人看護学臨地実習II	5月9日(月)~7月29日(金)								
		精神看護学臨地実習									
		母子看護学臨地実習II	5月9日(月)~7月29日(金)、8月1日(月)~8月12日(金)								
		在宅看護学臨地実習									
	栄4・編4年次	給食経営管理論実習III	5月23日(月)~27日(金)								
		給食経営管理論実習IV	8月15日(月)~9月16日(金)のうち5日間								
臨床栄養学実習V		8月15日(月)~9月16日(金)のうち15日間									
公衆栄養学実習II		5月23日(月)~6月10日(金)、8月15日(月)~9月16日(金)のうち5日間									
栄養教育実習		5月30日(月)~6月3日(金)									
夏期休暇	看1年次	7月30日(土)~9月11日(日)									
	看2年次	7月23日(土)~8月28日(日)									
	看3年次	7月23日(土)~8月28日(日)									
	看4年次	8月13日(土)~9月19日(月)									
	栄1年次	7月30日(土)~9月11日(日)									
	栄2年次	7月30日(土)~9月11日(日)									
	栄3・編3年次	7月30日(土)~8月28日(日)									
	栄4・編4年次	7月23日(土)~8月16日(日)									

【後期】

	日 月 火 水 木 金 土							行事予定等		臨地実習	
	日	月	火	水	木	金	土	看護学科	栄養学科	看護学科	栄養学科
9月					1	2	3	8月29日(月) 8月29日(月)～9月2日(金)	主たる受講年次が栄3年次科目後期学内授業始講(再掲) 栄3年次後期履修登録変更期間	↓ 看2 ↓ 栄4・編4 ↓ 看1 ↓ 看1 ↓ 栄3 ↓ 看4 ↓ 看2 ↓ 栄3	↓ 栄3
	4	5	6	7	8	9	10	12日(月) 12日(月)～16日(金) 20日(火) 20日(火)～26日(月) 20日(火)～26日(月) 30日(金)	主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目後期学内授業始講 看1、栄1・2年次科目後期履修登録変更期間 主たる受講年次が看2・4、栄4年次科目後期学内授業始講 看2・4、栄4年次後期履修登録変更期間 2年次教養科目履修登録変更期間 前期卒業証書・学位記授与式		
	11	12	13	14	15	16	17	11日(火)～12日(水) 14日(金) 午後 22日(土)	栄2年次修養会 栄2ステップ・アップ・セレモニー 開講日		
	18	19	20	21	22	23	24	31日(月)	主たる受講年次が看3年次後期学内授業始講		
	25	26	27	28	29	30					
10月							1				
	2	3	4	5	6	7	8				
	9	10	11	12	13	14	15	11日(火)～12日(水) 14日(金) 午後 22日(土)	栄2年次修養会 栄2ステップ・アップ・セレモニー 開講日		
	16	17	18	19	20	21	22	31日(月)	主たる受講年次が看3年次後期学内授業始講		
11月							1	31日(月)～4日(金)	看3年次後期履修登録変更期間		
	6	7	8	9	10	11	12	7日(月)～8日(火)	看2年次修養会		
	13	14	15	16	17	18	19	22日(火) 午後 26日(土) 29日(火)	看2戴帽式 開講日 体育祭		
	20	21	22	23	24	25	26				
12月							1	1日(木)～2日(金) 3日(土)	栄3年次修養会 開講日		
	4	5	6	7	8	9	10	6日(火)～7日(水) 8日(木) 10日(土)	看3年次修養会 創立記念日 開講日		
	11	12	13	14	15	16	17	14日(水) 午前 15日(木)～16日(金) 17日(土)	クリスマスの集い・学生総会 栄4年次修養会 開講日		
	18	19	20	21	22	23	24	23日(金)	冬期休暇開始		
	25	26	27	28	29	30	31	25日(日)	キリスト降誕祭		
	1	2	3	4	5	6	7				
	8	9	10	11	12	13	14	10日(火)	冬期休暇明け始講		
1月	15	16	17	18	19	20	21	21日(土)	開講日		
	22	23	24	25	26	27	28	26日(木)～2月1日(水)	主たる受講年次が1～3年次科目定期試験		
	29	30	31								
2月							1	1日(水)～3日(金)	主たる受講年次が4年次科目追・再試験		
	5	6	7	8	9	10	11				
	12	13	14	15	16	17	18	21日(火)～23日(木)	主たる受講年次が1～3年次科目追・再試験		
	19	20	21	22	23	24	25				
3月							1				
	5	6	7	8	9	10	11	9日(木)～10日(金) 14日(火) 15日(水) 10:00～	看4年次修養会 修了・卒業感謝のミサ 卒業証書・学位記授与式		
	12	13	14	15	16	17	18				
	19	20	21	22	23	24	25				
授業期間	主たる受講年次が栄3年次科目							8月29日(月)～1月25日(水)			
	主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目							9月12日(月)～1月25日(水)			
	主たる受講年次が看2年次科目							9月20日(火)～1月25日(水)			
	主たる受講年次が栄・栄4年次科目							9月20日(火)～1月23日(月)			
	主たる受講年次が看3年次科目							10月31日(月)～1月25日(水)			
臨地実習	看1年次	基礎看護学臨地実習 I					10月6日(木)・7日(金)・13日(木)・14日(金) (いずれも午前) 10月25日(火)・26日(水)・11月1日(火)・2日(水) (いずれも終日)				
	看2年次	基礎看護学臨地実習 II (再掲)					8月29日(月)～9月9日(金)				
		老年看護学臨地実習 I					11月4日(金)～1月20日(金)の毎週金曜日(クラス別隔週実施)				
	看3年次	成人看護学臨地実習 I (再掲)									
		老年看護学臨地実習 II (再掲)					8月29日(月)～10月28日(金)				
	看4年次	母子看護学臨地実習 I (再掲)									
		統合看護学臨地実習					10月31日(月)～11月11日(金)				
	栄3年次	給食経営管理論実習 II					10月3日(月)～10月7日(金)				
		臨床栄養学実習 III					10月31日(月)～11月18日(金)				
	栄編3年次	臨床栄養学実習 III					2月6日(月)～2月17日(金)				
給食経営管理論実習 IV (再掲)					8月15日(月)～9月16日(金)のうち5日間						
臨床栄養学実習 V (再掲)					8月15日(月)～9月16日(金)のうち15日間						
公衆栄養学実習 II (再掲)					8月15日(月)～9月16日(金)のうち5日間 ※ただし、9月に臨地実習を行う科目における栄編4年次の実習期は9月9日(金)まで						
冬期休暇								12月23日(金)～1月9日(月)			

# I. 学事歴 (看護栄養学研究科)

## 【前期】

		日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月							1	2		
		3	4	5	6	7	8	9	4日(月) 13:00~ 5日(火) 6日(水) 6日(水)~12日(火)	入学式・専攻別オリエンテーション ガイダンス・定期健康診断 前期授業開始 履修登録期間
		10	11	12	13	14	15	16		
		17	18	19	20	21	22	23	20日(水) 午前	研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)
		24	25	26	27	28	29	30	21日(木) 午前	イースターの集い
	5月		1	2	3	4	5	6	7	
		8	9	10	11	12	13	14		
		15	16	17	18	19	20	21		
		22	23	24	25	26	27	28	24日(火) 午後	避難訓練
		29	30	31						
6月					1	2	3	4		
		5	6	7	8	9	10	11		
		12	13	14	15	16	17	18		
		19	20	21	22	23	24	25		
		26	27	28	29	30				
	7月							1	2	
		3	4	5	6	7	8	9	7日(木)	中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降)
		10	11	12	13	14	15	16	12日(火)~15日(金)	修士論文・博士論文の提出(2年次以降)
		17	18	19	20	21	22	23		
		24	25	26	27	28	29	30	29日(金)	学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 論文審査会(修士論文・博士論文)
		31								
8月			1	2	3	4	5	6		
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		
		28	29	30	31				24日(水)13:00まで	修正済み論文提出
	9月						1	2	3	
		4	5	6	7	8	9	10	5日(月)	後期授業開始
		11	12	13	14	15	16	17		
		18	19	20	21	22	23	24	23日(金)17:00まで	研究計画書提出(看護学専攻2年次以降)
		25	26	27	28	29	30		24日(土)	大学院推薦入学試験
									30日(金)	前期修了 学位記授与式

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
10月							1	15日(土)	大学院前期入学試験
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
11月			1	2	3	4	5	26日(水)	研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
12月					1	2	3	8日(木)	創立記念日
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
1月								14日(水) 午前	クリスマスの集い
	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
2月								16日(月)から20日(金) 21日(土)	修士論文・博士論文の提出(2年次以降) 大学院後期入学試験
	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
3月				1	2	3	4	3日(金)	学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 論文審査会(修士論文・博士論文)
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28						
3月								17日(金)17:00まで	修正済論文提出
				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
3月								14日(火)	修了・卒業感謝のミサ
				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
3月								15日(水) 10:00~	学位記授与式
	26	27	28	29	30	31			
								31日(金)17:00まで	研究計画書提出(看護学専攻1年次)

## Ⅱ. 2016年度開講科目一覧

### 1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①共通基礎科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	科学的思考演習	2	前	1			1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
	民族と異文化理解	1	後		2	2		
④人間と社会	法学（日本国憲法）	1	前		2	2		
	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
⑤人間と自然科学	化学	1	前	2		2		
	生物学	1	前		2	2		
	統計処理演習Ⅰ	1	前		1		1	
	統計処理演習Ⅱ	1	後	1			1	
⑥人間と外国語	英語ⅠA	1	前	1			1	
	英語ⅠB	1	後	1			1	
	英語ⅡA	2	前		1		1	
	英語ⅡB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュⅠA	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュⅠB	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュⅡA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュⅡB	2	後		1		1	
	フランス語	2	前		1		1	
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツⅠ	1	前後		1			1
	健康とスポーツⅡ	2	前後		1			1



## 2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病態治療学 I	1	後	2		2		
	病態治療学 II	1	後	2		2		
	病態・治療学 III-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学 III-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	前	2		2		
	保健医療福祉システム論	2	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
	医療人類学	4	後		1	1		
専門科目	看護学原理	1	前	2		2		
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論 I	1	前	1		1		
	基礎看護技術論 II	1	後	2			2	
	基礎看護技術論 III	2	前	1			1	
	基礎看護技術論 IV	2	前	2		1	1	
	成人看護学 I	2	前	1			1	
	成人看護学 II	2	後	2		1	1	
	成人看護学 III	2	後	1			1	
	成人看護学 IV	3	前	2		1	1	
	老年看護学 I	2	前	1		1		
	老年看護学 II	2	後	1		1		
	老年看護学 III	3	前	2			2	
	小児看護学 I	2	後	2		1	1	
	小児看護学 II	3	前	2		1	1	
	母性看護学 I	2	後	2		2		
	母性看護学 II	3	前	2			2	
	精神看護学 I	2	後	1			1	
	精神看護学 II	3	前	2		2		
	精神看護学 III	3	後	1			1	
	在宅看護論 I	3	前	1		1		
	在宅看護論 II	3	後	2		2		
	家族看護学	2	後	1		1		
地域看護学	3	前	1			1		
ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1			
ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1			
リハビリテーション看護学	3	後		1	1			

## 2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習Ⅰ	3	後	3				3
	成人看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習Ⅱ	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習Ⅰ	3	後	1				1
	母子看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	精神看護学臨地実習	4	前	2				2
	在宅看護学臨地実習	4	前	2				2
	統合看護学臨地実習	4	後	2				2
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	事例研究	4	前後	2			2	
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理	4	後	1		1		
	統合看護技術演習	4	前	1			1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	看護教育学	4	前		1	1		
	国際医療援助論	4	後		1	1		
	災害医療援助論	4	後		1	1		
	合同特別演習	4	後		1		1	
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1		
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1		
人間形成とキャリアデザインⅢ	3	後	1		1			

3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	人間関係論	1・編3	前	1		1		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2・編3	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4・編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1
	生涯発達論	1・編3	前	2		2		
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学Ⅰ	1	後	2		2		
	生化学Ⅱ	2・編3	前	2		2		
	形態機能学Ⅰ	1・編3	前	2		2		
	形態機能学Ⅱ	1	後	2		2		
	病理学	2・編3	前	2		2		
	微生物学	1・編3	後	2		2		
	病態診療学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	病態診療学Ⅱ	3・編3	前	2		2		
	生化学実験	2・編3	前	1				1
	形態機能学実習Ⅰ	1	後	1				1
	形態機能学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学Ⅰ	1	前	2		2		
	食品科学Ⅱ	1	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験Ⅰ	1	後	1				1
	食品科学実験Ⅱ	3・編3	前	1				1
	調理学実習Ⅰ	1	前	1				1
	調理学実習Ⅱ	1	後	1				1
	食品衛生学実験	2・編3	前	1				1
	食品微生物学実験	2・編3	前	1				1
	食品科学Ⅲ	2・編4	後		2	2		
環境食事論	4・編4	後		1	1			
食文化論	4・編4	後		1	1			
専門科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	基礎栄養学実験・実習	2・編3	後	1				1
	応用栄養学Ⅰ	2・編3	前	2		2		
	応用栄養学Ⅱ	2	後	2		2		
	応用栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3・編3	前	1				1
	国際栄養学	4・編4	後		1	1		
	免疫と栄養	3	後		1	1		
	スポーツ栄養学	3・編3	後		1	1		
	栄養教育論Ⅰ	2	前	2		2		
	栄養教育論Ⅱ	2・編3	後	2		2		
	栄養教育論Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1

### 3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4・編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4・編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3・編3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3・編3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4・編4	前		1		1	
	栄養・看護演習	3・編3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2・編3	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4・編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4・編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3・編3	前・後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4・編4	前・後	2			2	
	食といのちのゼミ	4・編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	合同特別演習	4・編4	前後		1		1	
	卒業研究	4・編4	前・後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ（学外実習）	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ（学外実習）	3・編3	後	2				2
	公衆栄養学実習Ⅱ（学外実習）	4・編4	前・後		▲1			1
	給食経営管理論実習Ⅲ（学外実習）	4・編4	前・後		▲1			1
	臨床栄養学実習Ⅴ（学外実習）	4・編4	前・後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅳ（学外実習）	4・編4	前・後		1			1
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

#### 4. 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前・後		2		2	
教職総合演習	3	後		2		2		

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

#### 5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	医療情報・管理学特論	1・2	後		2	2		
専門基礎科目	栄養生理学特論	1・2	前		2	2		
	薬理学特論	1・2	前		2	2		
	保健医療福祉システム特論	1・2	後		2	2		
	家族関係論特論	1・2	前		2	2		
専門基礎科目	栄養疫学特論	1・2	後		2	2		
	健康栄養エビデンス論	1・2	前		2	2		
	栄養管理学特別研究	1～2	前後	4				4
	栄養管理学特別演習	1～2	前後	4			4	

#### 6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12

7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		上級実践看護師コース			保健師コース		授業区分			
				単位数		単位数		○印 CNS 対象 科目	単位数					
				必修	選択	必修	選択		必修	選択	講義	演習	実習	
看護学・栄養管理学科両専攻共通科目	倫理学特論	1	後	1					1		1			
	人間関係論特論	1	後		1					1	1			
	研究方法論特論	1	前	2					2		2			
	統計学特論	1	前		1				1			1		
	疫学	1	前		1				1		1			
	地域ケアシステム論	1	後		1				1		1			
	健康行動科学特論	1	前		1				1		1			
	医療情報・医療経済	1	後		1					1	1			
看護学専攻共通基礎科目	看護理論特論	1	前	2					2		2			
	看護倫理特論	1	後	1						1	1			
	看護研究法Ⅰ（量的研究）	1	後		1					1		1		
	看護研究法Ⅱ（質的研究）	1	後		1					1		1		
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2					2	2			
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1					1		1		
	看護管理学特論	1	後		2					2	2			
	家族関係論特論	1	前		1				1		1			
	コンサルテーション論	1	後		1					1	1			
専門基礎科目	薬理学特論	1	前		2					2	2			
	フィジカルアセスメント	1	後								2			
	病態生理学	1	前		2					2	2			
	臨床薬理学	1	前		2					2	2			
	精神病理学特論	1	前		2					2	2			
	保健医療福祉政策論	1～2	後		1	1		○	1		1			
	保健医療福祉行政論	1	前		3					3	3			
	疫学・保健統計特論	1	前		2					2	2			
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1					1		1		
	代謝栄養学特論	1	後		2					2	2			
	環境保健学	1	前		1					1	1			
専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前						2		2		
		公衆衛生看護学原論	1	前						2		2		
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	前						2		2		
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	1	後						2		2		
		健康学習支援演習	1	後						1			1	
		家族看護学特論	1	前						2		1	1	
		公衆衛生看護診断	1	後						2		1	1	
		公衆衛生看護管理	1	後						2		2		
		健康危機管理特論	1	後						1			1	
		公衆衛生看護課題研究演習	1	後						2			2	
		家族看護継続実習	1	後						1				1
		公衆衛生看護展開実習	1	後						2				2
		公衆衛生看護管理実習Ⅰ	1	後						2				2
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1～2	後前	2								2	
	ホスピス緩和ケア看護学	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	2	前			2		○			2		
ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ		1～2	後前			2		○				2		
実習Ⅱ		2	前			3		○					3	
実習Ⅲ		2	前			3		○					3	
特別看護研究		2	前後	8								8		
課題研究		2	前後			2						2		

### Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2016年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	94 (6)	93 (9)	94 (2)	99 (3)	380 (20)	109.2%
	栄養学科		350	91 (3)	83 (2)	90 (2)	91 (0)	355 (7)	101.4%
		(うち編入生)	10	—	—	—	4 (0)	4 (0)	8 (0)
	小 計			698	185 (9)	176 (11)	184 (4)	190 (3)	735 (27)
助産大学院 助産専攻	助産専攻	助産基礎分野	60	12 —	18 —	— —	— —	30 —	50.0%
		助産教育分野	20	2 —	2 —	— —	— —	4 —	20.0%
	小 計			80	14 —	20 —	— —	34 —	42.5%
看護大学院 看護学専攻	看護学専攻	ホスピタル緩和ケア看護学コース	28	0 (0)	2 (0)	— —	— —	2 (0)	62.5%
		公衆衛生看護学コース		0 (0)	1 (0)	— —	— —	1 (1)	
		成人看護学コース		0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	
		精神看護学コース		0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	
		保健師コース		5 (0)	0 (0)	— —	— —	5 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	0 (0)	6 (0)	— —	— —	6 (0)	100.0%
		博士後期課程	6	0 (0)	1 (0)	2 (0)	— —	3 (0)	50.0%
	小 計			40	5 (0)	10 (0)	2 (0)	— —	17 (0)
合 計			818	204 (9)	206 (11)	186 (4)	190 (3)	786 (27)	96.1%

社会人学生数

(2016年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	4 (0)	4 (0)	4 (0)	9 (2)	21 (2)
	栄養学科	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	4 (1)
	小 計	4 (0)	6 (1)	6 (0)	9 (2)	25 (3)

奨学金の種類と採用数（2016年3月現在）

対象	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	35人
	日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	30,000円 または、自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円	無利子貸与	163人
		第二種	月 額	30,000円、50,000円 80,000円、100,000円 120,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	193人
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ 記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
	天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	1人
1～3年 次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	7人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	7人
全 学 生	その他の奨学金					16人
合 計						452人

IV. 国家試験合格率

国家試験合格率

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
天使大学大学院 助産研究科	助産師国家試験	15 人	14 人	93.3%	93.2%
看護栄養学部 看護学科	看護師国家試験	99 人	96 人	97.0%	94.3%
看護栄養学部 看護学科	保健師国家試験	0 人	0 人	0.0%	94.5%
看護栄養学部 栄養学科	管理栄養士国家試験	89 人	82 人	92.1%	92.4%



## V. 就職・進学状況

学科別就職希望者（2017年5月31日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	86	86.9%	3	3.0%	89	89.9%	88	96.7%	0	0.0%	88	96.7%
	希望無しの者	10	10.1%	0	0.0%	10	10.1%	3	3.3%	0	0.0%	3	3.3%
計(卒業者数)		96	97.0%	3	3.0%	99	100.0%	91	100.0%	0	0.0%	91	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		86	100.0%	3	100.0%	89	100.0%	88	100.0%	0	0.0%	88	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科 n=89						栄養学科 n=88					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	19	22.1%	1	33.3%	20	22.5%	10	11.4%	0	0.0%	10	11.4%
	道内	67	77.9%	2	66.7%	69	77.5%	78	88.6%	0	0.0%	78	88.6%
	市内(再掲)	(67)	(77.9%)	(2)	(66.7%)	(69)	(77.5%)	(58)	(65.9%)	(0)	(0.0%)	(58)	(65.9%)
職種別	看護師	86	96.6%	3	3.4%	89	100.0%						
	保健師	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%						
	管理栄養士							32	36.4%	0	0.0%	32	36.4%
	栄養士							23	26.1%	0	0.0%	23	26.1%
	栄養教諭							2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%
	食品衛生監視員							0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	一般企業							31	35.2%	0	0.0%	31	35.2%
	上記以外							0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科							
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目						進学希望者に対する割合						進学希望者に対する割合	
進学希望者数		7		0		7		0		0		0	
進学合格者数		7		0		7		0		0		0	
						100%						0.0%	

## 2016年度求人件数・人数（2016年3月31日現在）

### 〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	34	69	223	292	665	1,001	6,080	7,081
保健師	2	80	20	100	5	128	102	230
助産師	8	20	114	134	26	62	780	842
計	44	169	357	526	696	1,191	6,962	8,153

### 〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	68	99	32	131	560	597	1,073	1,670
管理栄養士	57	130	33	163	458	549	258	807
栄養教諭	1	2	2	4	1	4	6	10
食品衛生監視員	4	4	2	6	6	6	4	10
その他 保健医療従事者	2	10	5	15	9	47	142	189
計	132	245	74	319	1,034	1,203	1,483	2,686

### 〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	28	60	83	143	797	1,080	2,170	3,250
合計	204	474	514	988	2,527	3,474	10,615	14,089

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

## VI. 2017年度入学試験結果

2017年度天使大学・大学院入学試験結果

### 看護栄養学部

\* ( ) は、昨年度の数字です

#### ◆看護学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	40	4	(5)	4	(5)	4	(5)	4	(5)	1.0
公募制推薦		61	(40)	61	(40)	36	(36)	36	(36)	1.7
社会人	37	12	(13)	12	(12)	1	(2)	0	(2)	12.0
一般		291	(316)	285	(314)	73	(71)	41	(40)	3.9
センター利用	10	184	(143)	184	(143)	29	(28)	12	(10)	6.3
総計	87	552	(517)	546	(514)	143	(142)	93	(93)	3.8

#### ◆栄養学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	42	5	(4)	5	(4)	5	(4)	5	(4)	1.0
公募制推薦		58	(49)	58	(49)	37	(38)	37	(38)	1.6
社会人	33	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般		100	(75)	100	(72)	44	(43)	34	(39)	2.3
センター利用	10	77	(59)	77	(59)	16	(12)	12	(9)	4.8
総計	85	241	(187)	241	(184)	102	(97)	88	(90)	2.4

#### ◆栄養学科 (3年次編入)

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
	5	4	(8)	4	(8)	2	(5)	2	(4)	2.0

## 大学院 看護栄養学研究科

#### ◆看護学専攻

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
推薦	14	1	(0)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	1.0
一般 前期		2	(5)	2	(5)	2	(5)	2	(5)	1.0
一般 後期		1	(3)	1	(3)	1	(0)	1	(0)	1.0
総計	14	4	(8)	4	(8)	4	(5)	4	(5)	1.0

#### ◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
一般 前期	3	2	(0)	2	(0)	1	(0)	1	(0)	2.0
一般 後期		1	(0)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	1.0
総計	3	3	(0)	3	(0)	2	(0)	1	(0)	1.5

#### ◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
一般 前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般 後期		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
総計	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—

## 大学院 助産研究科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)	
基礎分野	推薦	10	7	(5)	7	(5)	7	(5)	7	(5)	1.0
	前期一般	15	11	(7)	10	(4)	7	(3)	6	(3)	1.4
	前期社会人		2	(2)	2	(2)	1	(2)	1	(2)	2.0
	後期一般	5	4	(1)	4	(1)	2	(1)	2	(1)	2.0
	後期社会人		1	(1)	1	(1)	0	(1)	0	(1)	—
分教 野育	前期	10	0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	—
	後期		0	(2)	0	(2)	0	(2)	0	(2)	—
総計	40	25	(19)	24	(16)	17	(14)	16	(14)	1.4	

## VII. 教員組織

### 教員組織一覽

(2016年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	7人	1人	1人	2人	0人	11人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	29人
看護栄養学部	看護学科	6人	5人	9人	8人	3人	31人
	栄養学科	8人	5人	6人	2人	3人	24人
	教養教育科	4人	3人	0人	0人	0人	7人
	計	18人	13人	15人	10人	6人	62人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	101人
合計		25人	14人	16人	12人	6人	203人

### 専任教員年齢構成

(2016年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
助産研究科	教授	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	7
		14.3%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	1	1	1	4	2	1	1	0	0	0	11	
	9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
小計		1	1	1	4	2	1	1	0	0	0	11
		9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1	6	6	1	2	2	0	0	0	0	18
		5.6%	33.3%	33.3%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	3	1	6	2	1	0	0	0	13
		0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	46.2%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	1	2	2	6	3	1	0	0	15
		0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	40.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	1	1	3	3	2	0	10
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100%	
計	1	6	10	4	11	11	7	4	2	0	56	
	1.8%	10.7%	17.9%	7.1%	19.6%	19.6%	12.5%	7.1%	3.6%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	6	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	100%	
小計		1	6	10	4	11	12	8	4	3	3	62
		1.6%	9.7%	16.1%	6.5%	17.7%	19.4%	12.9%	6.5%	4.8%	4.8%	100%
合計		2	7	11	8	13	13	9	4	3	3	73
		2.7%	9.6%	15.1%	11.0%	17.8%	17.8%	12.3%	5.5%	4.1%	4.1%	100%

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2017年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	講師から 准教授	助教から 講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人
看護学科	1人	0人	1人	3人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	1人	1人
栄養学科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	1人	0人	3人
教養教育科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
計	3人	0人	1人	3人	1人	1人	1人	5人	1人	3人	2人	4人

VIII. 事務組織

(2016年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職員	臨時職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学業務系	総務課	4	1	3	3	0	0	10
	学務課	5	1	7	2	0	0	14
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	4	1	2	5	0	0	11
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	20	5	16	10	0	0	46
合計		20	5	17	10	0	0	47

## IX. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	佐藤 香苗	地域で暮らす認知症高齢者のための新規栄養ケアモデルの構築と応用可能性
2	継続	基盤研究(C)	伊織 光恵	ダウン症のある女子の母親が行う初経教育の構築
3	新規	基盤研究(C)	松下 真美	食事タンパク質・アミノ酸の抗肥満効果に対する褐色脂肪熱産生の寄与

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1		特別研究費	大久保 岩男	北海道産サルナシおよびマタタビ果実のシステインプロテアーゼの構造解析および生理活性物質産生能に関する研究
2		特別研究費	清水 真理	特定(多数)給食施設における栄養管理に関する実態と指導および支援方法の検討
3		特別研究費	針金 佳代子	幼児のいるひとり親世帯の母親の、健康な食生活を形成するための家族のニーズ
4		特別研究費	小澤 涼子	第一次産業従事者の健康観の概念分析

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	松下 真美	—	ヒト褐色脂肪に対するカプシエイト類の効果に関する研究に対する助成
2	奨学寄付	山口 敦子	—	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理栄養学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
3	奨学寄付	荒川 義人	—	道産の機能性リッチ食材の調理加工による機能性成分の動態に関する研究促進に対する助成
4	受託研究	松下 真美	—	ポリフェノールによるヒト褐色脂肪活性化に関する研究
5	受託研究	松下 真美	—	褐色脂肪組織活性と食後消化管ホルモン動態との関連性評価検討
6	受託事業	山部 秀子	—	コープさっぽろ天使大学連携プロジェクト
7	受託事業	山部 秀子	—	コープさっぽろ配食事業連携
8	受託事業	荒川 義人	—	音更町第2次食育・地産地消促進計画策定に係る監修、編集等委託業務
9	受託事業	山口 敦子	—	平成28年度「社会的課題に対応するための学校給食の活用」事業
10	共同研究	荒川 義人	西 隆司 村尾 咲音	たまねぎ新品種「ゆめせんか」の加工特性解明と高品質安定生産技術確立による需要促進
11	共同研究	大久保 岩男	武藏 学 山口 敦子 清水 真理 鈴木 純子 峯岸 夕紀子 百々瀬いづみ 松下 真美	日本食スタイルの評価と健康影響の検討

その他の活動

分類	活動内容
天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻ホスピス緩和ケア特別講義	2016年7月7日（木）、大学院看護栄養学研究科看護学専攻ホスピス緩和ケアコース特任教授のデボラ・ウィット・シャーマン教授（フロリダ国際大学教授）による学部生対象の「アメリカにおける緩和ケア」の特別講義が初めて行われました。看護学科1年次生と栄養学科4年次生1名が参加しました。
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	2016年度は学部学生により「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使健康栄養クリニックPR協力」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「天使の昼食会」、「若者を対象にした料理教室」、「東区健康づくりフェスティバルの運営協力」など7事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学校、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定	札幌市東区に設置する3大学と1専門学校および札幌市東区による地域連携協定に基づき、「健康」をテーマに地域住民向けのスポーツまつりを2016年10月23日（日）につど一むで開催し、「天使大の健康塾」というブースで、看護・栄養の学生達が参加者への食事のアドバイスや血圧測定を行いました。





## XI. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2016年4月1日(金)	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2016年度教授会構成員について 2) 2016年度教授会・研究委員会開催予定について 3) 2016年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験に係る追加合格について
1	2016年4月12日(火)	1. 審議事項 1) 退学願の許可について 2) 学科・科会議規程(12-26)の一部改正(案)について 3) 入試委員会規程(12-36)の一部改正(案)について 4) 教務委員会規程(12-39)の一部改正(案)について 5) 学生委員会規程(2-43)の一部改正(案)について 6) 宗務委員会規程(12-67)の一部改正(案)について 7) 教職課程委員会規程(12-81)の一部改正(案)について 8) 動物実験委員会規程(12-85)の一部改正(案)について 9) 病原体等安全管理委員会規程(12-95)の一部改正(案)について 10) 専任職員の職務に関する規程(13-71)の一部改正(案)について 11) 入学者選考規程(14-1)の一部改正(案)について 12) 編入学に関する規程(14-6)の一部改正(案)について 13) 転入学に関する規程(14-11)の一部改正(案)について 14) 再入学に関する規程(14-16)の一部改正(案)について 15) 転学科に関する規程(14-21)の一部改正(案)について 16) 外国人留学生の入学に関する規程14-31の一部改正案について 17) 研究生に関する規程(14-36)の一部改正(案)について 18) 科目等履修生規程(14-46)の一部改正(案)について 19) 特別聴講学生に関する規程(14-51)の一部改正案について 20) 委託生に関する規程(14-56)の一部改正案について 21) 他大学等における履修の取扱いに関する規程(14-71)の一部改正(案)について 22) 履修規程(14-81)の一部改正(案)について 23) 教職課程履修規程(14-121)の一部改正(案)について 24) 学業成績優秀者奨励金に関する規程(15-16)の一部改正(案)について 25) 兄弟姉妹同時在学時授業料等免除に関する規程(15-31)の一部改正(案)について 26) 無料職業紹介業務運営規程(15-66)の一部改正(案)について 27) 職業紹介に関わる個人情報適正管理規程(15-71)の一部改正(案)について 28) 動物実験に関する規程(17-56)の一部改正(案)について 2. 報告事項 1) 2016年度アッセンブリ・アワーの実施について 2) 2016年度イースターの集い、および今後の宗教行事の予定について 3) 2016年度校務分掌について 4) 2016年度合唱コンクールの実施について 5) 2016年度学校医(内科医・精神神経科医)について 6) 2016年度天使大学改修工事の予定について
2	2016年5月11日(水)	1. 審議事項 1) 2016年度既修得単位の認定・単位授与について 2) 2017年度看護栄養学部、栄養学科編入学試験、指定校推薦入学試験学生募集要項について 2. 報告事項 1) 2016年度英語プレイスメントテスト実施結果について 2) 2016年度化学・生物診断テスト実施結果について 3) 研究に関するアンケート調査結果報告(2015年度実施)について 4) 2016年度天使祭について 5) 2016年度葦の会役員、部活動団体について 6) 2017年度日本カトリック大学連盟総会について 7) 第32回カトリック医療関連学生セミナー2016in札幌の開催について 8) 教職員緊急連絡網の取扱について 9) 消防訓練について
3	2016年6月7日(火)	1. 審議事項 1) T-NAV I への出欠登録について 2. 報告事項 1) 学業成績優秀者奨励金該当者について 2) 委員会報告 3) 天使大学構内建造物不法侵入について

回	開催年月日	審議・報告事項
4	2016年7月5日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度非常勤講師の委嘱について 2) 2016年度既修得単位の認定・単位授与について 3) 2016年度科目等履修生の履修科目の追加について 2. 報告事項 1) 三つのポリシー策定義務化に関する省令の改正に伴う検討について 2) 出欠管理について 3) 委員会報告 4) 休・退学願の手續きに関する申合せについて 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
5	2016年8月2日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度既修得単位の認定・単位授与について 2) 2016年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度人事方針について 2) 将来構想委員会について 3) 休・復・退学願の手續きに関する申合せについて 4) 2016年度第1回FD研修会の開催について 5) 2016年度職員研修会の実施について 6) 後援会地区懇談会および同窓会交流会について 7) 委員会報告 8) 出欠管理について 9) 旅費計算の事務取扱要領の変更について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
6	2016年9月6日(火)	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2016年度特別研究費の採択状況について 2) 2016年度前期定期試験に関するアクシデント等について 3) 2016年度後期宗務行事予定について 4) 休学・復学について 5) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について 2) 学生の懲戒について
7	2016年10月4日(火)	1. 審議事項 1) 非常勤講師の委嘱について 2) 看護学科1年次復学者の進級要件について 2. 報告事項 1) 2016年度Food and Life Step-up Ceremony実施について 2) 2016年度海外研修旅行について 3) 2016年度体育祭の実施について 4) クリスマス関連行事の予定について 5) 教職員修養会の日程について 6) 休学・退学について 7) 在籍者数について 8) 委員会報告について 9) 看護学科専任教員の退職願について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
8	2016年11月1日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度非常勤講師の委嘱変更について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 校務分掌(委員会構成員)について 2) 2016年度戴帽式の実施について 3) 教職員修養会の内容等について 4) 2016年度第2回FD研修会の開催について 5) 委員会報告について 6) 栄養学科専任教員の採用について 7) 国際交流及び国際交流委員会の設置について

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2016年11月16日(水)	1. 審議事項 1) 2017年度指定校推薦入学試験、公募制推薦入学試験、社会人入学試験及び栄養学科編入学試験の合否判定について
9	2016年12月6日(火)	1. 審議事項 1) 2017年度学事暦(案)について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 専任教員の退職について 2) 栄養学科3年次編入学の募集停止について 3) 授業科目の成績評価に対する学生からの意見の申出の手順について 4) 学校法人天使学園創立70周年記念事業について 5) 札幌市との学生ボランティア派遣に係る協定について 6) 委員会報告について 7) 2017年度予算編成方針について 8) 韓国カトリック大学校との交流について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
10	2017年1月11日(水)	1. 審議事項 1) 2018年度入学試験日程について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2016年度2月以降の宗務行事予定について 2) 教員の退職について 3) 教員の採用について 4) 2017年度教員免許状更新講習の実施について 5) 2016年度年報の作成および活動報告会の開催について 6) 2016年度補正予算について 7) 2017年度予算編成方針について 8) 委員会報告について 2. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
11	2017年2月10日(金)	1. 審議事項 1) 2017年度一般入学試験(栄養学科)の合否判定について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱及び委嘱取消しについて 3) 2018年度入学試験日程の一部変更について 2. 報告事項 1) 教員の採用等について 2) 2016年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 3) 2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について 4) 学術振興委員会主催の講演会開催について 5) 2016年度海外研修旅行の実施について 6) 学生証の変更について 7) 3つのポリシーの検討状況について 8) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
臨時	2017年2月16日(木)	1. 審議事項 1) 2017年度一般入学試験(看護学科)の合否判定について
臨時	2017年2月23日(木)	1. 審議事項 1) 2017年度大学入試センター試験利用入学試験(看護学科・栄養学科)の合否判定について
12	2017年2月28日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度卒業判定について 2) 2016年度教職課程修了判定について 3) 2017年度非常勤講師の委嘱について 4) アドミッション・ポリシーの一部修正について 5) 2018年度入学式日程等について 6) 2017年度科目等履修生の受入れについて 2. 報告事項 1) 教員の採用について 2) 研究科長等の選考について 3) 専任教員の新規担当科目について 4) 2017年度会議日程について 5) 委員会報告について

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2017年3月17日(金)	1. 審議事項 1) 2016年度進級判定について 2) 2017年度既修得単位の認定・単位授与について 3) 2017年度非常勤講師の委嘱及び委嘱変更について 4) アドミッション・ポリシーの一部修正について 5) 看護栄養学部の教育目的の文章表現について 2. 報告事項 1) 休学・復学について 2) T-NAV I アンケート機能の利用について 3) 出会いと親睦のゼミについて 4) 2016年度後期定期試験におけるアクシデント等について 5) 専任教員の新規授業科目担当について 6) 2017年度入学式実施要領について 7) 2016年度卒業生の就職状況(2017年3月15日現在)について 8) 2017年度第1回FD研修会の開催について 9) 2016年度学生による授業評価アンケートの報告書について 10) 天使大学における競争的資金に係る間接経費の取扱方針について 11) 非常勤講師等の講義料等に関する申合せについて

## 看護栄養学研究科研究科委員会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2016年4月12日（火）	1. 審議事項 1)2016年度専任教員の新規担当科目について 2)2016年度開講科目及び担当教員について 3)2016年度看護栄養学研究科の活動目標(案)について 4)天使大学大学院看護栄養学研究科専攻会議・課程会議規程(19-71)の一部改正(案)について 5)栄養管理学専攻構成員の承認について 6)2016年度専任教員の新規担当科目について 7)2016年度開講科目及び担当教員について 8)2016年度非常勤講師の委嘱取消について 2. 報告事項 1)2016年度研究科委員会構成員について 2)2016年度研究科委員会開催予定について 3)2016年度学事暦の変更について 4)2016年度看護学専攻研究計画書発表会の実施について 5)2015年度事業報告および活動のまとめについて 6)院生研究費について
2	2016年5月11日（水）	1. 審議事項 1)2016年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について 2)2016年度非常勤講師・特別講師の委嘱について 3)2017年度看護栄養学研究科学生募集要項について 2. 報告事項 1)看護学専攻の授業を公開授業とすることについて 2)大学院長期履修学生規程について
3	2016年6月7日（火）	1. 審議事項 1)副指導教員の承認について 2)2016年度修士論文研究計画書の審査について 3)2016年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1)2016年度中間発表会について 2)栄養学科3・4年次生対象の栄養管理学専攻の説明会開催について 3)2016年度 看護学専攻説明会およびオープンキャンパスについて 4)チャーマン教授によるホスピス緩和ケア講演会の開催について
4	2016年7月5日（火）	1. 報告事項 1)三つのポリシー策定義務化に関する省令の改正に伴う検討について 2)休・退学願の手続きに関する申合せについて
5	2016年9月6日（火）	1. 審議事項 1)2016年度特別講師の委嘱について 2)2016年度大学院看護栄養学研究科看護学専攻特別講義について 2. 報告事項 1)2016年度大学院看護栄養学研究科FD研修会について
臨時	2016年9月27日（火）	1. 審議事項 1)2017年度看護学専攻(保健師コース)推薦入学試験の合否判定について
臨時	2016年10月18日（火）	1. 審議事項 1)2017年度一般入学試験(前期)の合否判定について
6	2016年11月1日（火）	1. 審議事項 1)2016年度学位論文関連スケジュールについて 2)2018年度入学試験日程について 2. 報告事項 1)2016年度栄養管理学専攻FD研修会について
7	2016年12月6日（火）	1. 審議事項 1)2017年度看護栄養学研究科学事暦(案)について 2)2017年度非常勤講師の委嘱について 3)2016年度学位論文提出予定者の副査選出について
8	2017年1月11日（水）	1. 審議事項 1)2016年度論文提出による学位申請資格審査並びに主査・副査の選出について 2)2016年度看護学専攻修士論文・課題研究論文の主査及び副査について 3)2017年度非常勤講師・特別講師の委嘱について
臨時	2017年1月24日（水）	1. 審議事項 1)2017年度一般入学試験(後期)の合否判定について 2)2016年度学位論文提出者の主査・副査について 3)学位論文発表会の開催について
9	2017年2月10日（金）	1. 審議事項 1)2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1)特任教員の雇用契約の更新について

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2017年2月28日（火）	1. 審議事項 1) 2016年度修了判定について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱変更について 2. 報告事項 1) 2016年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について 2) 2016年度論文提出による学位申請者の審査報告書について
臨時	2016年3月17日（金）	1. 審議事項 1) 栄養管理学専攻博士後期課程2年次生の研究指導教員の変更について 2) 2017年度新任教員の新規担当科目について 3) 2017年度学事歴(看護栄養学研究科)の変更について 4) 看護栄養学研究科3ポリシー(案)について 2. 報告事項 1) 2017年度専任教員の新規担当科目(看栄研)について 2) 2017年度専任教員の新規担当科目(看護)について 3) 2016年度年報(自己点検・評価報告書)について 4) 天使大学における競争的資金に係る間接経費の取扱方針について 5) 非常勤講師等の講義料等に関する申合せについて

助産研究科教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2016年4月13日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度非常勤講師の委嘱内容の変更について 2) 休学願の許可について 2. 報告事項 1) 2016年度助産研究科教授会構成員について 2) 2016年度校務分掌・委員会構成について 3) 2016年度イースターの集い、および今後の宗務行事の予定について 4) 2016年度合唱コンクール実施について 5) 2016年度学校医(内科医・精神神経科医)について 6) 2016年度天使大学改修工事の予定について 7) 2016年度ホームカミングデーの実施について
2	2016年5月18日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度助産研究科学生募集要項について 2. 報告事項 1) 2017年度日本カトリック大学連盟総会について 2) 第3 2回カトリック医療関連学生セミナー2016in札幌の開催について 3) 教職員緊急連絡網の取扱について 4) 消防訓練について
3	2016年6月13日（月）	1. 意見聴取事項 1) 助産研究科教員の退職願いについて
4	2016年6月24日（金）	1. 審議事項 1) 学則および履修規程の一部改正について 2. 報告事項 1) 専任教員の新規担当科目について
5	2016年7月22日（金）	1. 報告事項 1) 休・退学願の手続きに関する申合せについて 2) 成績評価に係る開示請求について
6	2016年8月19日（金）	1. 報告事項 1) 2017年度人事方針について 2) 将来構想委員会について 3) 休・復・退学願の手続きに関する申合せについて 4) 2016年度第1回FD研修会の開催について 5) 2016年度職員研修会の実施について 6) 後援会地区懇談会および同窓会交流会について 7) 旅費計算の事務取扱要領の変更について 2. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
7	2016年9月21日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度助産教育分野の修了判定について 2) 非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 休学について 2) 2016年度後期宗務行事予定について
臨時	2016年9月28日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について
8	2016年10月12日（水）	1. 報告事項 1) クリスマス関連行事の予定について 2) 教職員修養会の日程について
臨時	2016年10月19日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度助産基礎分野入学試験(前期)の合否判定について
9	2016年11月16日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度助産研究科入学試験日程について 2. 報告事項 1) 教職員修養会の内容等について
10	2016年12月6日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度大学院助産研究科学事暦(案)について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 3) 2017年度非常勤講師申合せ年齢制限外の委嘱について
臨時	2017年1月11日（水）	1. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
11	2017年1月25日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度助産基礎分野入学試験(後期)の合否判定について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2016年度2月以降の宗務行事予定について 2) 2016年度年報の作成および活動報告会の開催について
12	2017年2月15日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度入学式日程等(案)について 2. 報告事項 1) 教員の雇用契約の更新について 2) 2016年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 3) 学生証の変更について
臨時	2017年3月1日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度修了判定について 2. 報告事項 1) 教員の退職について 2) 教員の採用について 3) 2017年度会議日程について

回	開催年月日	審議・報告事項
13	2017年3月16日（木）	1. 審議事項 1) 2017年度非常勤講師の新規委嘱および委嘱内容の変更について 2) 2017年度授業科目開講期の一部変更について 2. 報告事項 1) 研究生の終了について 2) 2017年度入学式実施要領について 3) 2017年度第1回FD研修会の開催について 4) 2016年度学生による授業評価アンケートの報告書について 5) 天使大学における競争的資金に係る間接経費の取扱方針について 6) 非常勤講師等の講義料等に関する申合せについて 7) 2017年度授業担当科目について



## XII. 委員会構成一覧

### 2016年度 校務分掌 委員会構成一覧

2016. 4. 1

教育研究評議会	学 長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長 助産研究科教務委員長
---------	--------------------------------------------------------------------------------

#### ◎学部設置の委員会等

区分	委 員 会 名	委 員 長	委 員	人数	委員任期	担当事務局	
常任委員	教務委員会	川 口	教務部長：川口 看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教職課程委員長 看護：大野 栄養：吉田（真） 教養：日時	8	2年	学務課	
	学生委員会	勝 野	学生部長：勝野 看護：高橋・田中（さ） 栄養：西・岩渕 教養：田島	6	2年	学務課	
	宗務委員会	小 原	宗務部長：小原 看護：澤田・臺野 栄養：勝野・長谷川 教養：（小原） 助産：三浦 事務局：菊池、渡邊	8	2年	学務課	
	図書情報委員会	大久保	図書館長：大久保 看護：鶴木・伊藤 栄養：清水・岡部 教養：田島 助産：佐々木 図書情報課長	8	2年	図書情報課	
	入試委員会	室 橋	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長 入試：広報室長	8 (7)	2年	入試広報室	
	広報委員会	菅 原	看護：菅原・本宿・若山 栄養：岡部・峯岸 教養：日時 入試：広報室長	7	2年	入試広報室	
	自己点検評価委員会	山 部	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長 看護：吉田（礼） 栄養：山部 教養：（川口） 助産：園生	10 (9)	2年	総務課	
	FD委員会	佐藤（香）	看護：荒井・谷 栄養：佐藤（香）・高島 教養：室橋 助産：小林	6	2年	総務課	
	学術振興委員会	荒 川	看護：柴田 栄養：荒川・西 教養：堀井 助産：小林	5	2年	図書情報課	
	地域連携等委員会	本 宿	看護：本宿・若山・佐々木 栄養：長谷川 教養：小原 助産：津田	6	2年	学務課	
	就職委員会	清 水	看護：前田 栄養：清水・百々瀬 教養：新井	4	2年	学務課	
	教職課程委員会	新 井	教職科目担当：室橋・山部・百々瀬・岩渕・新井	5	2年	学務課	
	研究倫理委員会	堀 井	助産研究科長、看護栄養学研究科長、事務局長 学長指名：学外有識者2名 看護：吉田（礼） 栄養：鈴木 教養：堀井 小野滋雄・久々濤晴夫	8	2年	財務室	
	キャンパス・ハラスメント委員会	荒 井	学生部長、看護：荒井 栄養：山部 教養：田島 助産：小林 事務局長 職員：平野	7	2年	総務課	
	病原体等安全管理委員会	高 島	専門：高島・岩渕 感染予防：武蔵 学校医：大久保	4	2年	財務室	
	特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護： 栄養： 教養： 助産：	5	2年	学務課
		個人情報保護委員会	その都度	助産研究科長、看護栄養学研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教務部長、事務局長	7	2年	総務課
時限設置	カリキュラム検討委員会	武 蔵	学長 看護学科長 栄養学科長 教養教育科長 教務部長 学長指名：看護 菅原・大野 小原 学務課 事務局長（次長）	10	2年	学務課	
	看護：学生支援教員	1年 3年	◎柴田・荒井・前田・小澤・矢萩・伊藤・田中（裕） ◎鶴木・巖名・大野・佐々木・臺野・若山・（重岡）	2年 4年		◎谷・本宿・伊藤・田中（さ）・富川・中洞・（中山） ◎高橋・針金・澤田・新関・横山・（鈴木）	
	栄 養：学生支援教員	1年 3年	◎百々瀬・山部・勝野・西・岩渕 ◎鈴木・荒川・佐藤（香）・村尾	2年 4年		◎岡部・大久保・高島・金澤・松下 ◎清水・吉田・峯岸・長谷川・白幡	
	ヘルスケア実践開発プロジェクト	リーダー 山 口	看護：菅原 谷 富川 栄養：山口 清水 百々瀬			助産：今崎	
	後援会講演ワーキング		看護：巖名・新関 栄養：岩渕・松下 教養：小原 事務局：総務課				

#### ◎ 大学院看護栄養学研究科の科長・専攻主任

研究科長：大久保 岩男	看護学専攻主任：吉田 礼子	栄養管理学専攻主任：鈴木純子
運営会議	学長	研究科長 教授

\* 大学院共管委員会

#### ◎ 大学院助産研究科の科長・委員会等

区分	委員会等名	委 員 長	委 員
委 員 会	運営会議	学長	研究科長 教授 *大学院共管委員会
員 会	研究科会議	研究科長	研究科員
等	教務委員会	園生	(講義基礎)津田 (講義教育)園生 (実習)津田 (学生・就職)今崎 小林 佐々木 三浦
	入試広報委員会	今崎	園生 津田

### XIII. 委員会の活動報告

#### 2016年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：川口雄一 委員：佐藤昇子、山口敦子、新井英志、大野和美、吉田真弓、目時光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>14回（※2017年3月17日開催分までの回数）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度科目等履修生の履修科目の追加について</li> <li>・2016年度後期既修得単位の授与について</li> <li>・2016年度後期定期試験・評価日程について</li> <li>・2016年度実習指導教員の委嘱および取消しについて</li> <li>・2016年度前期定期試験・評価日程等について</li> <li>・2016年度定期試験・追試験・再試験監督要領について</li> <li>・2016年度非常勤講師の委嘱変更について</li> <li>・2017年度学事暦について</li> <li>・2017年度既修得単位の認定・単位授与について</li> <li>・2017年度講師会の開催について</li> <li>・2017年度在学生ガイダンスについて</li> <li>・2017年度時間割編成のガイドライン・編成条件について</li> <li>・2017年度新入生オリエンテーションについて</li> <li>・2017年度特別講師の委嘱について</li> <li>・2017年度非常勤講師の委嘱について</li> <li>・栄養学科3年生実習科目の履修判定について</li> <li>・看護学科1年生の復学者の2年次進級要件について</li> <li>・看護学科2・3年生実習科目の履修判定について</li> <li>・休・復・退学願の手続きに関する申合せについて</li> <li>・教学に関わるT-NAVIの運用上の取扱いについて</li> <li>・公認欠席における交通障害等に伴う遅延証明書の提出の取扱いについて</li> <li>・授業科目の成績評価に対する学生からの意見の申出の手順について</li> <li>・出欠管理システムの運用について</li> <li>・出校停止（インフルエンザ等）の際のT-NAVI上の処理について</li> <li>・新入学生の既修得単位の認定・授与について</li> <li>・養護教諭免許取得に係る科目の認定について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度教務委員会活動計画・予算について</li> <li>・看2の「美術概論」履修により授業変更が必要になった件について</li> <li>・看護栄養学部栄養学科「教職課程」におけるカリキュラム変更等の見通しについて</li> <li>・看護学科2年「英語IA」の再履修の授業スケジュールについて</li> <li>・新入生（履修）ガイダンス等について</li> <li>・成績評価に対する学生の意見申し出期限後の解答用紙の確認について</li> <li>・定期試験におけるアクシデント等について</li> </ul>	

2016年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：勝野由美子 委員：高橋順子、田中さおり、西隆司、岩淵絵里子、田島忠篤</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回（2017年3月8日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度 役割分担について</li> <li>・学生部長不在時の代理について</li> <li>・合唱コンクールについて</li> <li>・天使祭について</li> <li>・海外研修について</li> <li>・体育祭について</li> <li>・葦の会役員と学生委員会の交流会について</li> <li>・葦の会役員 リーダー研修会について</li> <li>・学生支援のための学内の情報共有等について</li> <li>・クラブ活動・学外での研究発表等、ボランティア活動への助成に関する要望について</li> <li>・学生証について</li> <li>・2017年度 活動計画書について</li> <li>・2017年度 予算について</li> <li>・2016年度 学生委員会点検評価</li> <li>・2016年度 年報（学生委員会部分）について</li> <li>・学生生活に関するアンケートについて</li> <li>・「拾得物の取り扱い」の見直しについて</li> <li>・2017年度 アッセンブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）について</li> <li>・2017年度学校医（内科医・精神神経科医）の委嘱について</li> <li>・学生生活ガイドブックについて</li> <li>・危機管理マニュアルについて</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスアワーについて</li> <li>・2016年度 葦の会予算について</li> <li>・海外研修旅行実施報告について</li> <li>・アッセンブリー・アワー実施報告について</li> <li>・「2014年度 学生生活についての調査報告書」の回答書の履行状況について</li> <li>・フランススコ・ボランティアキャンプについて</li> <li>・国民体育大会に出場する学生の公務欠席について</li> <li>・札幌市との学生ボランティア派遣にかかわる協定について</li> <li>・2017年度天使祭等の日程について</li> <li>・国際交流委員会と学生委員会の業務分掌について</li> <li>・学生総会について</li> <li>・後援会予算編成にあたっての要望について</li> <li>・学生相談室・保健相談室活動報告書について</li> <li>・保健相談室報告</li> <li>・学生相談室報告</li> </ul>	

2016年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：小原琢                  委員：ケン・スレイマン、澤田優美、臺野美奈子、勝野由美子、長谷川めぐみ、                  三浦恵津子、菊池史恵、本田英里（2016年4月1日～6月31日）                  事務局：学務課（渡邊泰央）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回（2017年3月8日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イースターの集い</li> <li>・ 聖堂の生花</li> <li>・ カトリック医療関連学生セミナー</li> <li>・ 毎週のミサ</li> <li>・ クリスマス関連の日程</li> <li>・ クリスマスの集い</li> <li>・ 死者追悼のミサ</li> <li>・ 教職員修養会</li> <li>・ 2017年度宗務委員会活動計画・予算</li> <li>・ 新年のミサ</li> <li>・ 退職する教職員のための感謝ミサ</li> <li>・ 修了・卒業感謝のミサ</li> <li>・ 自己点検評価報告書</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会いと親睦のゼミ</li> <li>・ チャペルアワー</li> <li>・ フランシスコ・ボランティアキャンプ</li> <li>・ 退職者の後任人事</li> <li>・ 修養会</li> <li>・ クリスマスオリエンテーション</li> <li>・ 「学部教授会」、「助産研究科教授会」、「教育研究評議会」への報告</li> </ul>	

2016年度 図書情報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：大久保岩男                  委員：鶴木恭子、伊藤治幸、清水真理、岡部哲子、田島忠篤、                  津田万寿美、平野敦子                  計 8 名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会助成図書を選定について(継続議題)</li> <li>・2016 年度活動計画及び図書資料費予算配分について</li> <li>・天使祭の企画及び配布用記念グッズについて</li> <li>・「オープンアクセスリポジトリ推進協会」の設立と参加について</li> <li>・2016 年度後期開閉館予定表案及び開閉室予定(継続)      ・2017 年度前期開閉館予定表(案)(継続)</li> <li>・メディカルオンライン導入のための和雑誌購読の見直しについて</li> <li>・平成 28 年度 ICT 利用による教育改善研究発表会について</li> <li>・学内ネットワークサービス利用ガイドライン(学生用)(教職員用)、天使大学情報システム管理運用及び利用に関する規程、SNS 利用の手引きについて(継続審議)</li> <li>・メディカルオンライン配信状況について      ・メディカルオンライン掲載雑誌のエンバーゴ問題</li> <li>・平成 28 年度教育改革 ICT 戦略大会について</li> <li>・ペットボトル等の館内持込みについて      ・卒論の写メ問題について</li> <li>・洋雑誌の 2017 年継続購読について      ・和雑誌の 2017 年継続購読について</li> <li>・利用者からの要望について</li> <li>①貸出上限冊数の増冊      ②卒業生への図書貸出      ③館内利用パソコンのための電源確保      etc.</li> <li>・2017 年度活動計画案及び予算案について</li> <li>・後援会助成要望書について</li> <li>・2016 年度年報：自己点検・評価報告(案)について</li> <li>・雑誌の保存期間と製本について</li> <li>・図書館利用規程(案)について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015 年度蔵書点検結果報告</li> <li>・2015 年度図書資料費執行状況(結果報告)</li> <li>・2016 年度図書資料費執行状況(継続)</li> <li>・専任職員の 6 月末退職及び 7 月採用について</li> <li>・北海道地区私立大学図書館協議会主催第 2 回業務研究会の本学開催について</li> <li>・私立学校施設整備補助金による講義室無線 LAN 保守料の補正予算計上について</li> <li>・看護学科事例研究複写代の処理方法について</li> <li>・看護学科の利用が競合する図書の取り扱いについて</li> <li>・館内使用パソコン用コンセント増設(12 口)について</li> <li>・年度末の研究費による文献複写等の受付について</li> <li>・年度末実施予定(蔵書点検、2017 年度準備作業)</li> </ul>	

2016年度 入試委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：室橋 春光                  委員：佐藤 昇子、山口 敦子、川口 雄一、針金 佳代子、金澤 康子、鈴木 敏郎                  計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>16 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生募集要項（学部・指定校推薦入学試験・栄養学科編入学試験）について</li> <li>・ 入学試験出題者について</li> <li>・ 広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について</li> <li>・ 2016年度 天使大学・大学院入学試験結果等資料の配付について</li> <li>・ 2017年度入学試験問題作成委員会資料について</li> <li>・ 東日本大震災および熊本地震に被災した受験者への対応について</li> <li>・ 天使大学 新入学者選抜制度の検討について</li> <li>・ 2018年度入学試験における出願資格について</li> <li>・ 公募制推薦・社会人入学試験、栄養学科編入学試験の小論文試験問題について</li> <li>・ 2018年度入学試験日程について</li> <li>・ 2017年度 推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験について</li> <li>・ 個人面接試験について</li> <li>・ 小論文試験について</li> <li>・ 合否判定基準について</li> <li>・ 入学手続要項（案）について</li> <li>・ 2017年度大学入試センター試験の人選について</li> <li>・ 2017年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験 合否判定について</li> <li>・ 2017年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験の点検評価について</li> <li>・ 2017年度入試委員会 活動計画について</li> <li>・ 2017年度入試委員会予算について</li> <li>・ 2017年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験について</li> <li>・ 入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について</li> <li>・ 追加合格決定のプロセスについて</li> <li>・ 2017年度一般入学試験学科試験 得点調整について</li> <li>・ 2017年度一般入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について</li> <li>・ 2017年度大学入試センター試験利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について</li> <li>・ アドミッション・ポリシーの修正について</li> <li>・ 2017年度看護栄養学部入学試験（面接試験）に関する調査について</li> <li>・ 2017年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、大学入試センター試験の点検評価について</li> <li>・ 2016年度年報（入試委員会関係部分）について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会について</li> <li>・ 「2017年度入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」のwebを通じた告知について</li> <li>・ 2016年度「大学入試センター試験」、「一般入試・センター利用入試」に関する事後アンケートの公表について</li> <li>・ 2016年度入学試験における志願者数増減の要因分析および学生募集の今後の課題について</li> <li>・ 2017年度一般入学試験問題 事前・事後チェックの業務委託契約書について</li> <li>・ 2017（平成29）年度大学入試センター試験全体説明会の日程および勤務の取り扱いについて</li> </ul>	

2016 年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原邦子 委員：本宿美砂子、若山好美、岡部哲子、峯岸夕紀子、目時光紀、鈴木敏郎 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016 年度活動計画・予算について</li> <li>・2016 年度進学相談会の計画について</li> <li>・2016 年度校内ガイダンスの計画について</li> <li>・2016 年度高校訪問について</li> <li>・2016 年度出張講義について</li> <li>・広報活動のための学内の協力体制について</li> <li>・2016 年度オープンキャンパスについて（第1回・第2回・第3回）</li> <li>・2016 年度広報活動のための学内勉強会について</li> <li>・2016 年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について</li> <li>・本学学生への大学院説明会について</li> <li>・看護栄養学研究科パンフレットについて</li> <li>・広報委員会の定例化について</li> <li>・2016 年度第1回オープンキャンパスについて</li> <li>・2016 年度広報活動のための学内勉強会について</li> <li>・広報委員会広報活動電子媒体と手続きについて</li> <li>・2016 年度新入生アンケートについて</li> <li>・入試結果情報の広報について</li> <li>・2016 年度第1回オープンキャンパスの振り返りについて</li> <li>・新入生アンケートについて</li> <li>・2016 年度 第2回オープンキャンパスについて</li> <li>・後期出張講義、進学相談会の担当者について</li> <li>・2016 年度 第3回オープンキャンパスについて</li> <li>・2016 年度 第2回オープンキャンパスの振り返り</li> <li>・次年度オープンキャンパスの日程について</li> <li>・次年度大学案内パンフレットについて</li> <li>・学報の内容について</li> <li>・2016 年度 第3回オープンキャンパスの振り返りについて</li> <li>・志願促進 DM について</li> <li>・2017 年度第1回オープンキャンパスの開催時期について（天使祭開催時期の変更）</li> <li>・2016 年度補正予算について</li> <li>・次年度予算で計上するべきもの</li> <li>・道内私立大学「オープンキャンパスフェア」について</li> <li>・推薦入試結果に関する高校へのフォローアップについて</li> <li>・2017 年度活動計画及び予算</li> <li>・2017 年度オープンキャンパスの日程及び内容について</li> <li>・2016 年度年報について</li> <li>・2017 年度前期学報について</li> <li>・2017 年度進学相談会・校内ガイダンス参加計画について</li> <li>・大学案内ダイジェスト版について</li> </ul>	

[主な報告事項]

- ・2017 年度大学案内（2016 年 6 月発行）について
- ・2015 年度学報について
- ・大学院説明会実施報告
- ・予算の執行について
- ・進学相談会・校内ガイダンスの参加状況について
- ・2017 年度大学案内校了及び納品予定日について
- ・2016 年度オープンキャンパス 8 月の模擬講義の依頼について
- ・広報活動に向けた学内勉強会実施報告
- ・事務職員高校訪問勉強会実施報告
- ・T-NAVI を使った周知について
- ・次年度大学案内の構想について
- ・進学相談会・高校訪問の情報共有
- ・出張講義・進学相談会・校内ガイダンス・高校訪問等について
- ・各種相談会について
- ・大学案内 学生人選状況報告
- ・出張講義・大学訪問報告
- ・クリスマスカードについて
- ・高大連携と入試制度に関する意見交換会報告
- ・大学案内 取材状況
- ・学報進捗状況
- ・補正予算申請内容
- ・第 3 回オープンキャンパス参加者アンケート
- ・志願促進DM
- ・大学案内 取材状況
- ・学報進捗状況
- ・クリスマスカード発送完了報告
- ・本学ホームページ作成、管理会社について
- ・本学補正予算の結果について「
- ・大学案内進捗状況
- ・学報進捗状況
- ・web システムの業者について
- ・栄養学科編入学者募集停止の予告・公表について



2016年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山部秀子                  委員：園生陽子、大久保岩男、佐藤昇子、川口雄一、山口敦子、吉田礼維子、                  岩間久哉</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度活動方針・活動内容について</li> <li>・2015年度年報の作成について</li> <li>・2016年度活動報告会及び年報作成について</li> <li>・2017年度活動計画及び予算について</li> <li>・教員業績について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度予算について</li> <li>・「改善報告書」の検討結果について</li> </ul>	

## 2016年度 FD委員会活動報告

委員会組織	委員長：佐藤香苗 委員：谷規久子、金澤康子、室橋春光、小林由希子
委員会開催数	12回（臨時委員会含む）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の出張研修参加について</li> <li>・ 2016年度のFD研修会について</li> <li>・ 2016年度第1回FD研修会について</li> <li>・ 2016年度第2回FD研修会について</li> <li>・ 第2回FD研修会ワークショップの報告について</li> <li>・ 授業に関する中間アンケートの実施について</li> <li>・ 前期授業評価アンケート集計表に係る「自由記載」および「改善の方策」の記載内容公開の是非について</li> <li>・ 2016年度授業評価アンケート報告書に係る資料について</li> <li>・ 次年度FD研修会の開催日程調整方法について</li> <li>・ 2017年度FD委員会活動計画書（案）について</li> <li>・ 2017年度FD委員会予算（案）について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年度活動計画および予算について</li> <li>・ 栄養学科FD委員の交代について</li> <li>・ 教員の出張研修参加について</li> <li>・ FD研修会の開催について</li> <li>・ 第1回FD研修会の参加者数とアンケート結果について</li> <li>・ 第2回FD研修会の参加者数とアンケート結果について</li> <li>・ 2016年度の学生による授業評価アンケートの実施について</li> <li>・ 授業評価アンケートの今後の予定について</li> <li>・ 2016年度前期授業評価アンケート集計表の公開について</li> <li>・ 北海道地区FD・SD推進協議会の加盟と研修会の参加について</li> <li>・ 北海道地区FD・SD推進協議会の総会について</li> <li>・ 各種研修会の案内について</li> <li>・ 道内大学における教員相互の授業参観について</li> </ul>	

2016年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荒川義人 委員：西 隆司、柴田和恵、堀井泰明、小林由希子 計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度委員会運営について</li> <li>・2016年度講演会について</li> <li>・前期研究報告会(案)について</li> <li>・研究に関するアンケート調査報告(案)について</li> <li>・紀要第17巻第1号の応募について</li> <li>・2016年度講演会等の企画について</li> <li>・紀要第16巻第2号の第2次発行について</li> <li>・2016年度講演会企画：実施時期等の再検討</li> <li>・講師の決定について</li> <li>・研究報告会について：後期のみの開催決定</li> <li>・研究報告会の開催日程とプログラム(9月学部教授会における特別研究費採択状況報告を受けて)</li> <li>・科研費獲得のための講習会企画に向けて</li> <li>・天使大学紀要投稿規程の一部見直しについて</li> <li>・紀要投稿規程の改正案について(継続議題)</li> <li>・天使大学紀要第17巻第1号投稿原稿の紀要掲載可否判定について</li> <li>・2017年度活動計画案及び予算案 左記修正案について</li> <li>・2016年度年報：自己点検・評価報告案について</li> <li>・講演会の本委員会主催に対する学園運営連絡会での意見について</li> <li>・投稿規程改正案の教育研究評議会への提出について</li> <li>・執筆要領の見直しについて</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀要第17巻第1号の応募状況について      ・左記の発行について</li> <li>・紀要第17巻第2号の原稿募集について      ・左記投稿申込件数について      ・左記の査読開始について</li> <li>・科研費獲得のための講習会について</li> <li>・2016年度特別研究費による研究報告会の案内について</li> <li>・2016年度講演会について：「災害時における生活支援—中長期的支援に求められる視点—」</li> </ul>	

2016年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：本宿美砂子 委員：佐々木雅彦・長谷川めぐみ・小原 琢・津田万寿美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について</li> <li>・2016年度東区5者連携事業について</li> <li>・2016年度委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・2016年度「ひがしく健康・スポーツまつり」について</li> <li>・2016年度地域連携事業活動の把握と報告書について</li> <li>・遠別町からの地域連携に関する要望について</li> <li>・平成28年度道民カレッジ「ほっかいどう学」インターネット講座の参加について</li> <li>・2016年度北海道薬科大学との連携事業「夕張地域医療体験」について</li> <li>・2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について</li> <li>・2017年度活動計画および予算について</li> <li>・2016年度自己点検評価について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度活動計画および予算について</li> <li>・2016年度区役所と天使大学との年間連携事業について</li> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座進捗状況について</li> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施・報告について</li> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座意見交換会実施報告について</li> <li>・2016年度東区5者連携事業について</li> <li>・2016年度「ひがしく健康・スポーツまつり」進捗状況について</li> <li>・2016年度「ひがしく健康・スポーツまつり」実施・報告について</li> <li>・2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案・ポスターについて</li> <li>・2016年度夕張地域医療体験について</li> <li>・平成29年度道民カレッジ連携講座前期分申込、名義後援願について</li> </ul>	

2016年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：前田朝子、百々瀬いづみ、新井英志</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回、臨時1回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度役割分担について</li> <li>・委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・就職ガイダンス・セミナーについて</li> <li>・就職相談室ニュース第1～3号の発行について</li> <li>・2015年度卒業生の離職調査について</li> <li>・2016年度「就職活動と就職支援に関する調査」について</li> <li>・就職活動ガイドブック2017年度版の発行について</li> <li>・本学所定の「履歴書」の改訂、「履歴書」「封筒」の無料提供について</li> <li>・推薦書・人物調書の発行方法について</li> <li>・学内選考方法について</li> <li>・教職員への就職状況の報告について</li> <li>・インターンシップ参加学生の保険について</li> <li>・2016年度自己点検評価について</li> <li>・2017年度活動計画について</li> <li>・2017年度予算について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度活動計画及び予算内訳見積書について</li> <li>・就職相談室報告について</li> <li>・2015・2016年度就職状況報告について</li> <li>・就職ガイダンス・セミナー報告について</li> <li>・学内企業説明会報告について</li> <li>・求人訪問対応報告について</li> <li>・出張関係について</li> <li>・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について</li> <li>・教員採用試験対策春期ゼミの開催及び出席状況について</li> <li>・北海道・札幌市教員採用試験自己採点について</li> <li>・学校インターンシップの実施状況について</li> <li>・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の作成について</li> <li>・2015年度就職先への礼状発送について</li> <li>・2015年度卒業生の離職調査送付及び調査結果について</li> <li>・就職相談室資料整理のためのアルバイトの雇用について</li> <li>・求人依頼の発送について</li> <li>・就職活動ガイドブック2017年度版の校正について</li> <li>・就職相談室ニュースの教職員への配信方法について</li> <li>・内定辞退の対応方法について</li> <li>・2017年度予算見積内訳書について</li> <li>・2017年度アッセンブリー・アワープログラムについて</li> </ul>	

## 2016年度 教職課程委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井 英志 委員：室橋 春光、山部 秀子、岩淵 絵里子、百々瀬 いづみ
委員会開催数	9 回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再課程認定手続きについて</li> <li>・2016年度履修カルテについて</li> <li>・2016年度教職課程修了判定について</li> <li>・2016年度非常勤講師および特別講師の委嘱について</li> <li>・2017年度教育実習履修判定について</li> <li>・2017年度科目担当者について</li> <li>・2017年度予算および活動計画書について</li> <li>・2017年度新入生オリエンテーションについて</li> <li>・2017年度教職課程履修の手引きについて</li> <li>・教員免許状更新講習について</li> <li>・科目等履修生の受け入れについて</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度予算および活動計画書について</li> <li>・北海道および札幌市教員採用候補者選考検査結果について</li> <li>・2016年度インターンシップについて</li> <li>・教職課程夏期・春期ゼミナールについて（新4年生対象）</li> <li>・教職課程履修取消者について</li> <li>・教育実習に係る説明会について</li> <li>・履修カルテの研究使用について</li> <li>・全国私立大学教職課程協会の「私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅲ」への応募結果について</li> </ul>	

2016年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：園生陽子、大久保岩男、吉田礼維子、鈴木純子、岩間久哉、小野滋男（外部委員）、久々湊晴夫（外部委員）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について</li> <li>・研究計画の倫理審査（審査件数 33 件）</li> <li>・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について</li> <li>・申請時のチェックリストの更新について</li> <li>・2017 年度予算について</li> <li>・2017 年度活動計画について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について</li> <li>・国の新倫理指針に合わせた本委員会の新規程について</li> <li>・2017 年度の研修会について</li> <li>・CITI Japan プロジェクトの教材利用を終了し、ICR 臨床研究入門および日本学術振興研究倫理 e-ラーニングコースに切り替える件について</li> </ul>	

2016年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荒井春生                  委員：山部秀子、勝野由美子、田島忠篤、小林由希子、平野敦子、岩間久哉                  計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>3回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度活動方針・活動内容について</li> <li>・講演会の開催について</li> <li>・ガイドライン配布について</li> <li>・ガイドラインの改正について</li> <li>・2017年度活動計画書及び予算について</li> <li>・2017年度講演会の開催及び講師について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度予算について</li> <li>・2016年度相談窓口の周知について</li> <li>・2015年度年報資料について</li> <li>・講演会の開催について</li> <li>・ガイドラインの配布について</li> <li>・規定の改正案について</li> </ul>	



2016年度 病原体等安全管理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高島郁夫 委員：武藏学、大久保岩男、岩渕絵里子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>1回（書面審議）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項] ・年報原稿について 提案通り承認された。</p> <p>[主な報告事項] ・なし</p>	

2016年度 ヘルスケア実践開発プロジェクト活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>リーダー：山口敦子                  委員：武蔵 学、今崎裕子、菅原邦子、谷 規久子、富川将史、清水真理                  百々瀬いづみ、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>4回、他メールでの紙面審議2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市東区「すこやか倶楽部」について</li> <li>・天使大学「子育てサロン」について</li> <li>・認知症サポーター養成講座について</li> <li>・高齢者を対象とした東区連絡協議会との事業について</li> <li>・学内研修会について</li> <li>・独居老人へのサポート事業について</li> <li>・活動計画等について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市東区「すこやか倶楽部」の実施内容、報告</li> <li>・天使大学「子育てサロン」の実施内容、報告</li> <li>・認知症サポーター養成講座の実施内容、報告</li> <li>・高齢者を対象とした東区連絡協議会との事業について</li> <li>・学内研修会の実施内容、報告</li> <li>・独居老人へのサポート事業についての実施内容、報告</li> </ul>	

#### Ⅳ. 図書館利用状況

##### 2016年度入館者統計

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	936	1,283	1,678	1,317	760	1,272	1,723	960	1,049	984	401	77	12,440
栄養学科	580	641	748	905	252	618	710	507	384	515	201	109	6,170
助産研究科	145	134	80	43	62	41	94	51	16	15	38	13	732
看護学専攻	47	61	46	51	39	45	30	36	38	27	16	12	448
栄養管理学専攻	4	3	3	4	1	3	5	8	4	4	1	2	42
科目等履修生	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
教職員	217	181	211	150	163	123	160	127	174	128	126	87	1,847
学外者	29	45	41	20	29	20	28	26	16	13	24	16	307
合計	1,958	2,348	2,807	2,491	1,306	2,122	2,750	1,715	1,681	1,686	807	316	21,987

##### 2016年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,041	1,139	1,609	1,238	906	1,467	1,783	1,022	1,129	676	304	136	12,450
栄養学科	353	597	750	659	278	610	583	485	422	192	178	82	5,189
助産研究科	249	219	150	72	89	97	167	74	29	38	62	53	1,299
看護栄養学 研究科	59	113	84	83	66	73	96	63	82	58	44	21	842
科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究生	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
教職員	229	219	166	101	120	228	185	133	200	111	140	140	1,972
学外者	6	18	40	18	39	4	24	14	5	5	3	0	176
合計	1,937	2,305	2,801	2,172	1,498	2,479	2,838	1,791	1,867	1,080	731	432	21,931

注記：2016年度は、看護栄養学研究科を看護学専攻と栄養管理学専攻に分けず一括した。

#### Ⅳ. 情報処理室の利用状況

##### 年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	1,017	2,009	2,829	2,628	8,483	820	2,544	7,514	2,061	12,939	21,422
4301室(夜間)	123	396	559	1,185	2,263	145	239	434	350	1,168	3,431
4302室(日中)	4,349	2,157	2,352	1,822	10,680	4,573	2,025	4,468	2,342	13,408	24,088
4302室(夜間)	835	555	468	780	2,638	1,363	253	861	361	2,838	5,476
総計	6,324	5,117	6,208	6,415	24,064	6,901	5,061	13,277	5,114	30,353	54,417

##### 月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	670	479	493	794	2,436	678	254	1,341	564	2,837	5,273
5	546	813	810	1,075	3,244	637	91	2,385	650	3,763	7,007
6	1,047	481	1,407	1,003	3,938	1,246	367	1,967	906	4,486	8,424
7	886	243	574	621	2,324	1,172	533	1,319	533	3,557	5,881
8	3	114	278	168	563	34	26	554	257	871	1,434
9	499	294	458	410	1,661	694	235	1,613	404	2,946	4,607
10	952	745	551	847	3,095	557	326	1,286	710	2,879	5,974
11	668	742	608	899	2,917	693	1,094	702	552	3,041	5,958
12	551	721	355	524	2,151	543	910	1,086	391	2,930	5,081
1	486	447	515	27	1,475	587	1,113	668	67	2,435	3,910
2	13	14	85	17	129	49	92	194	48	383	512
3	3	24	74	30	131	11	20	162	32	225	356
総計	6,324	5,117	6,208	6,415	24,064	6,901	5,061	13,277	5,114	30,353	54,417

## Ⅷ. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差(基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	40	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	21	707.43	2階建(耐震構造)
3号館	1963 (S38)	53	1,977.01	3階建(耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	45	2,429.06	3階建(耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	36	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	16	2,674.91	6階建(耐震構造)
7号館	2002 (H14)	14	2,330.13	4階建(耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	12	1,855.69	4階建(耐震構造)
体育館	1976 (S51)	40	736.52	
中沼グラウンド更衣室	1992 (H 4)	24	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	735	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	13	402	共用	245	786	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	735	0.38	
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	370	共用	92	17	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	34	4.45	
	学生学習室	1	344	共用	82	51	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737	/	/	/	/	
講堂		1	737	/	/	/	/	

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分 類	室 名	収容人数	面積(m <sup>2</sup> )	1人当り面積(m <sup>2</sup> )
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,470	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分 類	室数	総面積 (m <sup>2</sup> )	収容人数 (総数)	収容人員1人 当りの面積(m <sup>2</sup> )	使用研究科等	備考
実習室	17	2,227	624	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	18	2,401	664	3.37	—	—

## Ⅷ. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	83.6	82.4
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△1.6	△10.9
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.9	96.6
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	118.8	81.8
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	86.4	92.4
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	81.2	85.2
7	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	72.2	76.1
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	36.8	66.8
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	34.5	5.1
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	27.7	23.8
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	58.6	42.2
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	44.6	9.0
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	2.4	0.1
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	249.9	223.0
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	264.1	294.8
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.3	43.1
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	5.2	6.8
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	11.0	10.6
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.3	17.5
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	19.6	21.3

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらもいえない を示す。

(注2) 「他法人」は「今日の私学財政（大学・短期大学編）日本私立学校振興・共済事業団」より全国の保健系学部の平均を抜粋。

## 事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△1.1	13.7
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△0.2	5.0
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△0.5	4.6
4	収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	77.6	51.9
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.2	3.7
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	13.7	5.3
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	68.1	51.0
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.9	33.1
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.2	10.4
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.2
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	11.8	21.8
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.3	7.5
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	87.6	98.1
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	114.7	110.4

## 活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	7.8	13.7



編集後記：

天使大学看護栄養学部年報 - 自己点検・評価報告書 - 2016年度版が発行となりました。

年報は、教育研究活動の現状の活動や課題の評価を教職員間で可視化するシステムづくりの一つとして作成されています。

この報告書を土台として、今後も大学の課題を全教職員が認識し、課題の改善に向けた活動へと発展する自己点検評価活動を目指したいと思います。

大学の自己点検評価活動について、今後とも忌憚のないご意見等をお寄せいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2017年6月

自己点検評価委員会委員長 山部 秀子

2017年度 自己点検評価委員会

委員長：山部 秀子（栄養学科）

委員：進藤 正信（看護栄養学研究科長）

園生 陽子（助産研究科長）

佐藤 昇子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

吉田礼維子（看護学科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2016年度

天使大学 看護栄養学部

年 報

—自己点検・評価報告書—

2017年6月発行

自己点検評価委員会

---

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<http://www.tenshi.ac.jp>

---